

おおきなせなかに — 夢を乗せ未来に羽ばたく元気なまち びより

広報だいせん

だいせん日和

2011

vol.138

1

“ジャンボ”な年に
なりますように

(ジャンボうさぎ農家の草薙忠造さんと「ともみ号」・中仙地域清水)





大仙市議会議長

児玉裕一

議会

新年明けましておめでとうございます。市民のみなさまには、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心からお慶びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、混迷を深める世界情勢や全国では凶悪な犯罪や事件が発生、また依然として地域経済は厳しい状況が続いています。さらに、県内の水稲は田植え後の低温と猛暑による作柄不良と品質悪化に見舞われ、加えて米価の下落などによって農家はもとより地域経済へ大きな影響を与えております。

一方、大曲の花火100年となる「第84回全国花火競技大会」は、過去最多の80万人の観客数となり、伝統と歴史が培った百花繚乱の彩りの花火が、多くの人に感動と希望を与えました。次代へとつなぐ節目の大会が成功を収めたことに大きな喜びと誇りを感じているところであります。

さて、新年を迎え内外の情勢を鑑みると、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）への参加については、昨年10月29日開会の第3回大仙市議会臨時会において、県内の市町村議会に先駆け政府のTPP参加反対についての意見書を政府に送付しました。地域農業の存亡と地域社会の崩壊につながる重要事案であり、その動向を今後も注視してまいります。また、仙北組合総合病院改築計画が具体化し、市当局ならびに関係団体等との協議・連携を図りながら、喫緊の課題となっている地域医療の充実に向けて努力してまいります。

さらに地方自治にあつては、地方分権改

革の推進に加えて地域主権が提唱され、これまで以上に増して地方自治体の自己決定、自己責任が強く求められており、議会の果たすべき役割はますます重要となつてきております。

市議会においては、かねてから検討を進めてきた政治倫理条例と議会基本条例の制定に向け、去る12月定例会において、それぞれの特別委員会を設置し、これまでの検討内容を踏まえ集中した議論を重ね、議員自らを律し、市民に開かれ、市民の負託に応える市議会を目指した条例を制定する所存ですので、市民のみなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

そのほか、市民生活に大きく影響を与える諸課題も多く、うさぎ年にちなみ「株を守りて兔を待つ」の故事が教示する「いつまでも旧習を守り時勢の変化に対応しないこと」の教訓を胸に、市政を取り巻く状況を的確にとらえ、活力に満ちた大仙市の実現に向けて、議員一人一人が誠心誠意取り組み所存です。

結びに、つばみを着けた桜、梅、椿が厳寒と積雪に耐えてじつと春の訪れを待つ、その「しなやかさ」には、この厳しい社会情勢下にあつて希望と勇気を得る思いであります。

市民のみなさまにおかれましては、新しいカレンダーに数多くの喜びの日が記されるようお祈りしまして、年頭のあいさつといたします。



大仙市長

栗林次美

行政

新年明けましておめでとうございます。平成23年の新春を市民のみなさまとともにお慶び申し上げます。

昨年、記念すべき100年目を迎えた「大曲の花火」は、天候にも恵まれ、多くの関係者の協力のもと、記念大会にふさわしい豪華な花火を大会史上最高となる約80万人の方々に見守られていたと思います。今年から、新たな100年に向けて歩み始めますが、地域の先人たちが築いてきた歴史と伝統「大曲の花火」に対する花火師のみなさんや地元関係者の心意気を大切にしながら、多くの方々に夢と感動を与えることができるよう、大会実行委員会のみなさまとともに取り組んでまいりたいと考えております。

さて、2011年は、大仙市の合併後10年間にわたるまちづくりの総合的な指針を定めた総合計画の後期5年間に入る年であり、市民のみなさんともにお祝した昨年3月の誕生5周年を機に、これまで築き上げた新市としての土台づくりに一定の区切りを付けて、今後5年間の後期基本計画および実施計画の策定作業を「まちづくりアンケート」や「市民による市政評価」等を踏まえながら進めていきますが、低迷する地域経済、少子高齢社会への対応、仙北組合総合病院の移転改築、大きな転換期を迎えている農政への対応など、新たな課題に対応するため、刻々と変化する国政や社会経済状況を見極めながら、地域の力を集結して取り組んでまいります。

特に、地域医療の中核病院である仙北組合総合病院については、建物が老朽化、狭隘化しており、旧大曲市時代から改築が望まれてきたところ。一方、大曲駅を中心とした中心

市街地では、車社会の進展や消費者ニーズの多様化、大型空き店舗の発生などで求心力が低下しており、市の玄関口にふさわしい地区として再構築することが望まれています。市では、仙北組合総合病院の移転改築事業を柱に、市街地再開発事業と中心市街地活性化事業という2つの制度を最大限活用しながら、医療、福祉、交通等の都市機能の再編を図り、終盤を迎えている区画整理事業の成果と合わせて、機能的で利便性の高い中心市街地の形成を図りたいと考えております。また、事業の推進にあつては、住民参加型市場公募債を発行する予定としているほか、仙北組合総合病院の改築事業を目的としたふるさと納税もいただいておりますので、みなさんの思いを大切にしながら、市民が安心して暮らせるまちづくりに向けて集中的に取り組んでまいります。

農業については、国の政策が依然として不透明ではありますが、基幹産業である農業に元気がなければ、地域経済の発展はないという考えのもと、「担い手の育成と生産環境の整備」「地域に適合した農産物づくり」「加工・販売交流型農業の推進」「農山村環境の改善と保全」の4つを柱とした新たな農業振興計画を策定し、地域の産業として自立できる農業の確立に向けて、鋭意取り組んでまいります。

本年も「市民と行政との協働」のもと、市民の声に耳を傾け、市民が主役の地方分権時代にふさわしい市政の推進に努めてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

終わりに、みなさまの今年一年のご多幸とご健勝を心からお祈り申し上げます。年頭のあいさつといたします。

だいせん日和

CONTENTS_ 目次

特 集	
014	鮭が遡る川 内陸 68km で繰り広げられる「生命」の循環
016	ウライ 全長 127cm、日本最大級のサケ捕獲装置
018	ふ化場 年間 225 万尾を放流
020	釣 る 観光資源としての新たな可能性を秘め



今年卯年。中仙地域はジャンボウさぎの産地。毎年10月には「ジャンボウさぎフェスティバル」が開催されます。



021	食 す 120 年続く味、ここだからこそ味わえる
022	サケまつり 脈々と受け継がれる地域文化を再発見
024	取材を終えて 先人から受け継いだ財産を次代に引き継ぐ

002	年頭あいさつ 大仙市長 栗林次美、大仙市議会議長 児玉裕一	012	始まります平成 22 年分所得申告 市内どの会場でも申告できます
004	今号の注目株 茂木美竹さん、風歌さん、優希さん（協和船岡）	026	市体育協会設立 5 周年表彰 市のスポーツ振興に貢献された 10 人
006	市の動き 西仙北・神岡・南外で平成 24 年 4 月に学校統合 市役所の組織機構再編に向けて協議 中心市街地活性化基本計画が大臣認定 ほか	031	ヘルスメイトさんのレシピ 「サケの竜眼揚げ」「たらこごぼう」
008	市役所からのお知らせ 市総合計画「後期基本計画」／秋田県営農維持緊急支援資金 ほか	032	健康の達人 仙北組合総合病院脳神経外科 佐々木順孝医師「地域医療連携について」
		033	健康通信
		034	図書館情報・1 月の市長日程
		035	いきいき広場、介護保険事務所から

大仙の逸品

読者プレゼント

締め切り日 1 月 31 日（消印有効）

— お便り送って商品ゲット —



こだわりの秘伝大豆を使用した手作り豆腐。寄席豆腐はこの大きさで 1 パック 300 円（税込み）

応募方法
発行号、郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号と必ず広報紙の感想などを記入の上、プレゼント係までお送りください。
応募者多数の場合は抽選を行います。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

枝豆の王様「秘伝大豆」を使用した寄せ豆腐 2 パックを 5 人の方に

「秘伝豆腐」
「1 度食べたらやめられない」と遠くは秋田市や湯沢市からお客が来店する、内小友ファーム（小松玄佐夫代表）の手作り豆腐。12 月から 3 月までの期間限定販売。本来は枝豆として直接食す秘伝大豆。自家栽培の豆を使用し、手作りによるこだわりの逸品です。「みんなに喜んでもらえるよう、大豆にはこだわっています」と自信を見せる小松さん。
豆腐注文の受付時間は平日の午前 8 時～午後 5 時、前日の午前中までにお問い合わせいただけます。

あて先
〒014-8601（住所不要）だいせん日和プレゼント係
ファクス / 0187-63-1119
E メール / kouhou@city.daisen.akita.jp
※ E メールの場合は件名に「読者プレゼント」と記入ください。



日本一に輝いた茂木ファミリー
左から風歌さん、美竹さん、優希さん

Profile **もてぎファミリー**
大学で声楽を学び、ソプラノ歌手として活躍し、自宅で声楽とピアノ教室を主宰する茂木美竹さん。
双子の姉妹風歌さんと優希さんは、母の影響で小さなころから音楽を楽しむ。2 度目の出場となる全国童謡歌唱コンクールファミリー部門で見事日本一。ボーカルユニット「美風優」を結成し、ファミリーで活躍している。

約 2000 組の応募の中から、たくさんの方々に童謡に親しんでもらえればという願いから始まった全国童謡歌唱コンクールには、今年は約 2000 組の応募がありました。茂木さんが出場したファミリー部門以外にも子ども、大人の 3 部門で競われ、全国大会には 7 カ所のブロック大会を勝ち抜いた計 21 組が出場しました。
美竹さん（37 歳）自身は娘さんたちが生まれる前から大人部門に出場。平成 12 年には、東北代表として全国大会へ出場した経験があります。双子の姉妹風歌さん（協和小 6 年）と優希さん（同）が小学 1 年から 3 年までは、ファミリー部門に出場し東北大会で連続優秀賞を受賞。そして小学 3 年の時には念願

の全国大会に初出場しましたが入賞できませんでした。全国大会に出場すると、その後 2 年間は大会に出場できない規則があり、満を持して今年出場し見事日本一に輝きました。
平常心で歌えた全国大会
大会で披露した曲は、世界のつながりを表現した「誰かが星をみていた」。美竹さんは「高音域の難しい曲ですが、歌詞の優しいメッセージが気に入って、歌ってみたいと思いました」と選曲理由を話します。
本番では緊張することなく、振り付けしながら楽譜にはない独自のハーモニーを加えるなど、平常心で歌えたといいます。「曲のメッセージが伝わるよう、南極の景色をイメージしながら歌った」と優希さん。審査員からは「高音が美しく、素晴らしいハーモニーだった」と高い評価をいただきました。
風歌さんは「家族で金賞受賞。本当にうれしい。これからも 3 人で一緒に歌っていききたい」と喜びを表現します。

音楽のすばらしさを体感

聖霊女子短期大学音楽科を卒業し、声楽を築地利三郎氏、赤木一子氏に師事した美竹さんは、ソプラノ歌手としてソロコンサートを開催するなど、音

楽家として活躍するほか、自宅で声楽とピアノ教室を主宰。風歌さんと優希さんも美竹さんの影響で、幼いころから歌やピアノ、バイオリン、モダンバレエ、ダンスなど音楽に親しんでいます。昨年 8 月には、見事にオーディションに合格し、歌手の島谷ひとみさん主演のミュージカル「赤毛のアン」仙台公演に姉妹で出演。歌や演技を通じて音楽のすばらしさを体感しています。

ボーカルユニット「美風優」

美竹さんが出演する音楽会の主催者側から姉妹の出演依頼があり、親子で歌う機会が増えてきた 3 人。3 年前にファミリーボーカルユニットを結成。ユニット名を 3 人の名前の頭文字をとって「美風優」として活動。「童謡を知らずに育つ子どもが増えているが、美風優の活動を通して、幅広い世代に童謡の良さを知ってもらいたい」と音楽の楽しさを伝えていきます。
1 月 8 日には秋田市のアトリオン音楽ホールで行われる「あきたロシア音楽祭」に「美風優」として出演することが決定。「ぜひみなさんお越しください」と話します。
卯年生まれの風歌さんと優希さん。初の年女を迎え、中学進学もあり、さらなる飛躍の年になる予感がします。

A Hot Stock

今号の注目株

茂木美竹さん、風歌さん、優希さん
（協和船岡）

歌唱力、表現力、そしてハーモニーともに優れているという評価をいただいた。
11 月 3 日に東京都五反田ゆうぽーとホールで開かれた第 25 回全国童謡歌唱コンクール（日本童謡協会など主催）のファミリー部門で、茂木美竹さんと双子の姉妹の風歌さんと優希さんが最高賞の金賞を受賞し、日本一に輝いた。

童謡歌唱で日本一——「茂木ファミリー」 歌唱力、表現力、ハーモニーともに抜群の演奏

City Planning

市街地再開発事業

大仙市中心市街地活性化基本計画
内閣総理大臣認定を受ける

市では、こうした状況を踏まえ、7月にパブリックコメントを実施。市民のみなさんからご意見をいただきながら「中心市街地の活性化に関する法律」に基づく「大仙市中心市街地活性化基本計画」の策定に取り組んできました。その結果、平成22年11月30日付けで県内2番目、全国で101番目となる内閣総理大臣認定を受けることができました。これにより、国等からの多様な支援が受けられることとなり、より効果的な取り組みが可能となります。

大仙市中心市街地活性化基本計画

- 1.コンセプト／「人が集い 輝き続ける まちの拠点づくり～安心・潤い・活力ある中心市街地の形成に向けて～」
- 2.基本方針／①人々の暮らしに必要な施設と機能の集約・強化による求心力の再生②新たな取り組みによる人々の交流・活動の促進
- 3.計画期間／平成28年3月まで
- 4.計画区域／JR大曲駅を起点とした約120ha
- 5.活性化に向けた取り組み／仙北組合総合病院の移転改築、福祉施設、バスターミナル、駐車場などの整備を見込んだ「(仮称)大曲通町地区第一種市街地再開発事業」を中核事業とし、商業の活性化やにぎわい創出に結び付く各種事業の展開

今後、この計画に基づいた取り組みを着実に推進し、市民のみなさんにとって「安心」と「潤い」が感じられる活力ある中心市街地の形成をさらに進めていきます。

New Open

みなさんの利用をお待ちしています

料理教室など多様なニーズに対応
ペアーレ大仙キッチンスタジオ

また、キッチンの隣りにダイニングルームを設置。調理後にはゆっくりと食事やミニパーティーを楽しんでいただくことができます。ペアーレ大仙センター長の森田克彦さんは「より多くの方々に利用



12月9日のオープンには、キッチンスタジオの構想から助言をいただいていた料理研究家の米本かおりさん(写真上・左端)による料理教室を開催。「まるごと秋田のしよつるココット」など米本さんの創作料理4品を作りました



オープンしたキッチンスタジオ(写真上)とダイニングルーム

健康と生きがいづくり、市民活動の拠点施設として平成21年3月にオープンした「ペアーレ大仙」。水泳やフィットネスなどの健康づくり、舞踊や英会話、陶芸などの生涯学習に年間のべ5万4000人の方が利用しています。ペアーレ大仙では、もつと多くの方々に同施設を利用してもらうと1階にキッチンスタジオを増設。調理台4台を設置し、それぞれに流しとIHクッキングヒーター、グリルを備え付けています。また、さまざまな調理方法に対応できるようオープンレンジも4台設置。料理教室やサークル活動などで、最大20人が調理を楽しむことができます。

また、キッチンの隣りにダイニングルームを設置。調理後にはゆっくりと食事やミニパーティーを楽しんでいただくことができます。ペアーレ大仙センター長の森田克彦さんは「より多くの方々に利用

健

康と生きがいづくり、市民活動の拠点施設として平成21年3月にオープンした「ペアーレ大仙」。

平成21年度に西仙北・神岡・南外地域の保護者の方々を対象に実施した学校規模適正化アンケートや地域協議会での協議、PTA・保護者会長などで組織する検討委員会での意見等を踏まえ、開校準備を進行。保護者や地域の方々と連携しながら、「子どもたちの可能性が無限に広がる」環境の構築を目指します。

平成24年4月に統合する小・中学校

地域	統合校	利用校舎
西仙北	刈和野小 土川小 大沢郷小 双葉小	現在の刈和野小
	西仙北東中 西仙北西中	現在の西仙北東中
神岡	神宮寺小 北神小	現在の神宮寺小
南外	南檜岡小 南外西小	現在の南檜岡小

子どもたちの新たな学び舎

統合3小学校・1中学校の校名を募集します

- ◆応募資格／市内在住の方、または大仙市出身の方
- ◆応募方法／①応募用紙(任意の用紙も可)に必要な事項を記入し、ファクスまたは応募箱に投函②官製ハガキに必要な事項を記入し郵送※応募用紙と応募箱は、大曲図書館1階および教育委員会各分室に用意しています。応募用紙は市ホームページ(www.city.daisen.akita.jp)からダウンロードも可能。応募は1枚につき1校
- ◆記入事項／住所、氏名、年齢、連絡先、統合校の名称(ふりがな)、命名の理由
- ◆応募期間／1月4日(火)～17日(月)※必着

【問い合わせ・申し込み】

教育委員会教育総務課 ☎0187-63-1111 内線334 FAX0187-63-7131
〒014-8601 大仙市大曲上栄町2-16

School Mergers

学校規模適正化・学校統合

西仙北・神岡・南外の各地域で学校統合
平成24年4月統合学校誕生

統合する神宮寺小(写真上)と北神小。統合後は、神宮寺小の校舎を利用する予定

Reorganization

サービスの維持・向上と組織の強化
組織機構再編

職員数の減少と社会環境の変化や多様化・高度化する市民ニーズに対応するため、市では組織機構の再編に向けた協議を進めています。簡素合理化・効率化とサービスの維持・向上の両立を念頭に、窓口体制の強化や市民ニーズに

迅速に対応できる体制の構築を目指しています。総合支所は現在の4課体制を2課体制とし、これまでの業務を引き継ぎながら、市民サービスに直結する部門を集約。また、本庁では、消費生活相談のワンストップ窓口として「消費生活相談室」を設置するなどの案が出されています。市民のみなさんにとってより分かりやすく、より効果的にサービスの向上を図ることを第一に、今後も議会等との協議を重ねます。



くずし字の解読に挑戦してみませんか

古文書入門講座

史料館などに展示されている、くずし字で書かれた古文書を読んでみませんか。

◆対象／市内在住で古文書解読に挑戦してみたい方

◆期日／1月20日(木)・2月3日(木)・2月17日(木)・3月3日(木)・3月17日(木)

◆時間／午前9時30分～11時30分

◆会場／仙北ふれあい文化センター

◆定員／先着15人

◆参加費／無料

◆申込期間／1月7日(金)から14日(金)まで

◆問い合わせ・申し込み／仙北ふれあい文化センター ☎0187(69)3333

パパはバリスタ！イマドキ家族を楽しむおうちカフェ教室

子育てを楽しみたいパパ、家族のみなさん、家族の時間を楽しむプロの技を学びながら、ゆったりと過ごしませんか。

◆対象／子育て中の家族（主に幼稚園・保育園の年長～小学校低学年の子といる家庭）

◆日時／1月30日(日) 午前9時30分～正午

◆会場／ペアーレ大仙

◆定員／先着8家族

◆参加費／1家族500円

◆申込期限／1月14日(金)

◆内容／「ナガハマコーヒ」工場長が教えるコーヒー講座・「スイーツパパ」が教える簡単スイーツづくり(子どもといっしょに)「

◆問い合わせ・申し込み／男女共同参画・交流推進課 内線297

障がい福祉休日相談会

障がいのある方やその家族の方が抱える悩みについての無料相談会を行います。当日来られない場合は、事業所に直接連絡ください。

◆日時／1月16日(日)

◆【午前の部】午前10時～正午（受け付けは午前9時50分～11時30分）

◆【午後の部】午後1時～3時（受け付けは午後0時50分～2時30分）

◆会場／大曲交流センター

◆問い合わせ／援護福祉課 内線177

◆相談支援事業所／大仙障害者相談支援センターかしわ ☎0187(87)7300

角間川更生園指定相談支援事業所 ☎0187(65)3676

自立支援指定相談支援事業所あさひ ☎018(892)2881

協和市民センター自主事業



とんでもない女

舞台は九州にある元ペンションの室内。5年前に家出して行方不明になっていた妻（川島なお美）が突然帰ってくる。夫（下條アトム）は若い恋人（板垣桃子）と暮らしていて、3人の奇妙な同居生活が始まる。普通の主婦だった女性が5年間でスーパーウーマン「とんでもない女」に変身していく痛快社会派コメディ劇！

3/5 土

午後6時開演(午後5時30分開場)
協和市民センター(和ピア)

- ◆入場料／3,000円(全席指定)
※未就学児は入場できません
- ◆チケット発売開始／1月6日(木)午前9時
※電話予約は午後1時から
- ◆チケット販売／協和市民センター(和ピア)、大曲市民会館、中仙市民会館(ドンパル)、仙北ふれあい文化センター

【問い合わせ】

協和市民センター(和ピア)
☎018-892-3820

無料託児サービス ◆対象／1歳から未就学児まで
◆申込期限／2月23日(水)



大曲庁舎(本庁) ☎0187-63-1111
大曲南庁舎 ☎0187-66-4905
土地区画整理事務所 ☎0187-63-0542
神岡庁舎 ☎0187-72-2111
西仙北庁舎 ☎0187-75-1111
中仙庁舎 ☎0187-56-2111
協和庁舎 ☎018-892-2111
南外庁舎 ☎0187-74-2111
仙北庁舎 ☎0187-63-3003
太田庁舎 ☎0187-88-1111

大仙市ホームページ
<http://www.city.daisen.akita.jp/>

information

1月は国民健康保険税7期、後期高齢者保険料7期の納付月です。忘れずに納期内の完納をお願いします。

子育ての悩みを相談ください
まるこ電話相談 ☎0187-63-4166
午前10時～午後4時(水曜休み)



素案についての意見を募集

大仙市総合計画「後期基本計画」

【問い合わせ】

総合政策課 ☎0187-63-1111 内線 229

基本計画とは

大仙市が将来像として目指す「人が生き人が集う夢のある田園交流都市」を実現するための具体的な取り組みをまとめたもの。

計画期間は平成18年度から27年度までの10年間で、変化する社会情勢・住民ニーズに対応できるよう18年度から22年度までを前期計画、23年度から27年度までを後期計画としています。

後期計画は前期計画の成果やみなさんからいただいた意見などを参考に本年度末までに策定の予定です。

【意見・考え送付先】総合政策課
FAX 0187-63-1119
sougou@city.daisen.akita.jp
〒014-8601
大仙市役所総合政策課(住所不要)

市では「大仙市総合計画前期基本計画(平成18年度～22年度)」が本年度で終了することから、現在「大仙市総合計画後期基本計画(平成23年度～27年度)」の策定作業を進めています。

この計画は、総合計画で定めた基本構想の実現のため、今後5年で重点的に実施する施策や、その体系・方向を示すものです。このたび、計画の素案がまとまりましたので、市民のみなさんの考え・意見を募集します。いただいた意見や「市民による市政評価」の結果などを参考に、本年度末までに計画を策定する予定です。

- ◆募集期間／1月4日(火)から1月21日(金)まで
- ◆応募方法／住所、氏名、電話番号を明記し、郵送、持参、電子メール、またはファクスで提出(電話では受け付けません)
- ◆閲覧方法／素案および意見提出様式は、総合政策課または各総合支所地域振興課の窓口で用意するほか、市ホームページ(<http://www.city.daisen.akita.jp/>)からもダウンロードできます。
- ◆その他／みなさんからいただいた意見は、概要としてまとめ、公表させていただきます。(個々の意見等に直接の回答はしません)



農業経営を支援

秋田県営農維持緊急支援資金

【問い合わせ】

本庁農林振興課 ☎0187-63-1111 内線 245

秋田県営農維持緊急支援資金制度

平成21年産農作物の販売額	減収額(H21年比)
平成22年産農作物の販売額	

秋田県営農維持緊急支援資金を利用し、23年の営農運転資金借り入れた場合、利子分を県・市・金融機関が助成

資金借り入れの限度額



市では営農の安定を支援します。

- ◆対象／平成22年産農作物の販売額が21年に比較して減少した農業者、農業法人、集落営農組織で、米戸別所得補償モデル事業に加入している方
- ※野菜など水稲以外の作目の減収分も貸し付けの対象になります。
- ◆資金の用途／23年の営農に必要な運転資金(既往借入金の借り換えは含みません)
- ◆貸付利率／無利子
- 金融機関で定める基準金利(2・85%)を県、市および融資機関で助成
- ◆貸付限度額／21年に比較した22年の販売額の減少額から他の災害資金や諸対策金額を控除した金額以内
- ◆貸付実行期間／1月1日から11月30日まで
- ◆償還期限／5年以内(据置期間1年以内)
- ◆借入申込先／市内にある金融機関(JA秋田および、銀行、信用金庫)

太田地域 市営住宅入居者募集

- ◆募集住宅／
太田南部地区特定公共賃貸住宅
1戸(3LDK・H12建設)
家賃＝43,000円／月(定額)
- ◆入居資格／

- ①同居する親族がいる方(高齢者や障がいがある方は単身でも入居できる場合あり)
- ②住宅に困っている方
- ③入居しようとする方全員の年間総所得の合計から扶養控除等をした上で、12で割った額が15万8千円以上25万9千円以下の方
- ④市町村税に滞納がない方
- ⑤同居者を含め全員が暴力団員(暴力団対策法第2条第6号に規定する暴力団員)でないこと

※入居に際し、市内に居住している連帯保証人が1人必要。

◆申込期間／1月4日(火)から18日(火)まで(土・日曜日、祝日を除く)

◆入居可能日／2月16日(水)

【問い合わせ・申し込み】

太田総合支所建設課
☎0187-88-1116

「すもす」は、各地域で活躍している市民やサークルを、写真をたくさん使って紹介している生涯学習情報誌です。

今号には、「新しい大曲の花火100年へ」をテーマにした地元花火師たちの座談会特集も掲載しています。

市役所各庁舎、教育委員会各分室、各公民館など、市内の各施設に用意していますので、ご覧ください。(持ち帰り可)

【問い合わせ】
生涯学習課内線339



大仙市生涯学習情報誌「すもす」第5号発行

理容所・美容所、クリーニング店、コインランドリーを経営する方は、次の場合に申請や届け出が必要になります。

◆対象／

- ①店を新規に開設(移転)した場合
- ②従業員の新規雇用・異動・退職があった場合
- ③開設者が変わった場合(法人の代表者の変更や死亡による相続等)
- ④店を改築した場合
- ⑤営業をやめた場合

【問い合わせ・申請・届け出】
環境課内線277



交通規制に 協力ください 大仙市消防出初式

消防出初式にあたり全市の消防団員が大曲市民会館前に集結し行進を行います。

当日は、大曲市民会館の周辺道路が一時通行止めとなります。

ご協力をお願いします。

◆日時／1月5日(水)
午後1時15分～1時45分

【問い合わせ】
消防安全課内線232

研修内容(予定)

時期	内容	回数	キーワード
1月下旬～ 2月中旬	栽培技術	3回	野菜・花き・稲作の基本技術、異常気象に負けない作物づくり、大仙市の有望品目など
2月下旬～ 3月上旬	農業経営	3回	複合経営、農業事情(戸別所得補償・TPPなど)、流通の仕組み、消費者ニーズなど



◆研修奨励金／
月額7万5000円(予定)

◆申込期限／2月15日(火)

【問い合わせ・申し込み】
農業振興情報センター
☎0187(86)9111

農業の基礎を学ぶ 農業基礎講座

◆申込開始／1月4日(火)

【問い合わせ・申し込み】
本庁農林振興課内線244

農業の基礎を勉強する講習会です。ベテラン農家の方も基礎を確認しましょう。野菜や花きに興味がある方大歓迎です。

◆期間／1月下旬から3月上旬までの6日程度(開催日は参加者に個別通知します)

◆会場／農業振興情報センター(太田地域横沢)

◆定員／先着25人

◆申込開始／1月4日(火)

農業振興情報センター 新規就農者育成研修

農業後継者や新たに農業を始めたい方のための農業研修です。専門指導員から指導を受けて、実際に作物を栽培しながら、農業に必要な技術・知識を学ぶ実践研修です。研修期間は1年間で、研修奨励金の支給制度もあります。

◆対象／市内に住むおおむね50歳未満の方で、研修後に市内で農業を営む方

◆会場／農業振興情報センター(太田地域横沢)

◆期間／4月1日から平成24年3月31日まで(最大2年まで延長可)

取り壊した建物がある方は届け出を

建物や土地などの固定資産税は、1月1日現在の所有者に課税されます。

平成22年1月2日から23年1月1日までの間に、取り壊した建物がある場合は、税務課または各総合支所市民課まで届け出ください。

【問い合わせ】
税務課内線109・110
各総合支所市民課

提出期限
1月10日

農業委員会委員 選挙人名簿登載申請書

申請書の提出期限は1月10日(月)です。通知書に同封の返信用封筒で郵送ください。

【問い合わせ】

東部農業委員会 ☎ 0187-63-8970
西部農業委員会 ☎ 0187-75-2962

犬の散歩マナーを しっかり守ろう

「雪の上に犬のフンが放置されている」、「リードをしていない犬がいて怖い思いをした」。このような声が市役所に寄せられています。

きれいな街で気持ちよく散歩するためにも次のマナーを守りましょう。

◆フンは必ず持ち帰る

散歩は家で犬の排せつを済ませてからにし、散歩途中での排せつはやめましょう。

また、側溝や排水路にフンを捨てないでください。

◆散歩はリードをつけたまま

散歩途中の公道や公園でリードをはずして犬を放さないようにしましょう。

「しっかりしつていているから大丈夫」は飼い主の過信です。犬を怖いと感じる人もいることを忘れないでください。

【問い合わせ】
環境課内線277
各総合支所市民課

就業支援 パソコン基礎講習会

再就職や就業に有利になるようパソコンの基礎を学ぶ講習会です。

◆対象／現在再就職や就業を希望している方

◆期日／各講習2日間の日程

◆パソコン入門コース

- ①1月19日(水)・20日(木)
- ②1月26日(水)・27日(木)
- ③2月2日(水)・3日(木)
- ④2月9日(水)・10日(木)

◆エクセル入門コース

- ①2月23日(水)・24日(木)
- ②3月2日(水)・3日(木)
- ③3月9日(水)・10日(木)

◆時間／午前10時～午後4時

◆会場／神岡総合情報センター(神岡庁舎内)

◆定員／各12人

◆受講料／500円(テキスト代)

◆申込期間／1月5日(水)から各講習会の前日まで(平日午前9時～午後5時)

【問い合わせ・申し込み】
情報システム課内線134

第23回大仙市大曲新人音楽祭コンクール

予選 1月8日(土)

■ピアノ部門
時間／正午～
会場／大曲市民会館大ホール

■弦・管・打楽器部門
時間／正午～
会場／大曲市民会館小ホール

■声楽部門
時間／午後4時～
会場／大曲市民会館大ホール

本選 1月9日(日)

■全部門
時間／午後0時30分～
会場／大曲市民会館大ホール

コンクールキャッチコピー

伝えたい心 —
伝わる音楽 —



入場料／(全席自由両日券)
【一般】500円
【学生(高校生以下)】300円
※大曲華道会による作品展示もあります。

【問い合わせ】
大曲市民会館
☎0187-63-8766 (月曜日休館)

第22回グランプリ
白戸美帆さん
※9日に特別出演



大曲庁舎(本庁)
☎ 0187-63-1111

大曲南庁舎
☎ 0187-66-4905

土地区画整理事務所
☎ 0187-63-0542

神岡庁舎
☎ 0187-72-2111

西仙北庁舎
☎ 0187-75-1111

中仙庁舎
☎ 0187-56-2111

協和庁舎
☎ 018-892-2111

南外庁舎
☎ 0187-74-2111

仙北庁舎
☎ 0187-63-3003

太田庁舎
☎ 0187-88-1111

大仙市ホームページ
<http://www.city.daisen.akita.jp/>

information

1月は国民健康保険税7期、後期高齢者保険料7期の納付月です。忘れずに納期内の完納をお願いします。

子育ての悩みを相談ください
まるこ電話相談
☎ 0187-63-4166
午前10時～午後4時(水曜休み)

所得申告は大事な税金の手続き。早めの準備をお願いします。

始まります 平成22年分所得申告

2月から所得申告が始まります。混雑を防ぐため、日程を確認し各地域の会場で申告ください。（申告会場は各地域1カ所）また、申告に行くための交通手段がなく、困っている方はご相談ください。

【問い合わせ】各総合支所市民課、税務課 ☎0187(63)1111 内線107

申告が必要な方

昨年の申告状況から、今年、申告する必要があると思われる方には、1月中旬に申告書を送付します。ただし、申告書が送付されない場合でも、新たに事業を始められた方や勤務先を22年中に退職された方などは申告が必要な場合があります。※所得税の確定申告書が税務署から送付される予定の方には、市県民税の申告書を送付しません。

申告が必要ない方

次の①・②・③に該当する方は申告の必要はありません。
① 税務署へ所得税の確定申告書を提出する方
② 所得が給与所得のみで、勤務先で年末調整を済ませている方。（医療費控除・雑損控除等の申告をする方を除く）
③ 被扶養者で所得が全くない方（市県民税申告書が送付された方を除く）
※下チャートで申告の要不要を確認ください

申告に持参するもの

① 印鑑（認め印で可）
② 平成22年分の所得を証明できるもの
【給与収入がある方】源泉徴収票または事業主が発行する給与支払明細書
【事業・農業・不動産所得等がある方】収支内訳書または帳簿など
※農業所得のある方は全て収支計算（収入から必要経費を引いた額で所得を算出する方法）となります。農業収支内訳書が農業収支ノートに記入し、必ず持参ください
③ 国民年金、国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料、生命保険料、地震保険料などを支払っている場合はその領収書または証明書
④ 医療費控除の申告をされる方は、医療費の領収書
※22年中に支払った医療費の合計額を申告前（あらかじめ計算しておいてください）
⑤ 確定申告で所得税の還付申告をする方は、還付金の振込み先の口座番号等がわかるもの（本人の口座番号に限る）

住民税住宅ローン控除について

平成18年末までに居住開始された方と21年以降に居住開始された方で、所得税で控除しきれない住宅ローン控除額があり、住民税からの住宅ローン控除を希望する場合は、次の①・②のいずれかに該当すれば特別な手続きは必要ありません。
① 収入が給与所得のみで年末調整が終わっていて、22年分給与所得の源泉徴収票に「居住開始年月日」「住宅借入金等特別控除可能額」が記載されている方
② 確定申告をする方で、金融機関が発行した住宅借入金年末残高証明書添付して「借入金等特別控除額の計算明細書」を提出する方
※①②のいずれにも該当せず、住民税住宅ローン控除を受ける方、退職所得・山林所得がある方、所得税で平均課税の適用を受ける方は「住民税住宅借入金等特別控除申告書」の提出が必要となります。詳細は問い合わせください。

申告日程

申告相談日 日曜日の申告相談日

		大曲	神岡	西仙北	中仙	協和	南外	仙北	太田
2月	1	火							
	2	水							
	3	木							
	4	金							
	5	土							
	6	日							
	7	月							
	8	火							
	9	水							
	10	木							
	11	金							
	12	土							
	13	日							
	14	月							
	15	火							
	16	水							
	17	木							
	18	金							
	19	土							
	20	日							
	21	月							
	22	火							
	23	水							
	24	木							
	25	金							
	26	土							
	27	日							
	28	月							
3月	1	火							
	2	水							
	3	木							
	4	金							
	5	土							
	6	日							
	7	月							
	8	火							
	9	水							
	10	木							
	11	金							
	12	土							
	13	日							
	14	月							
	15	火							

地域ごとの日程を確認ください

混雑を避けるため、地区ごとに会場を割り当てていますので、各地域ごとに配布される日程表を確認ください。どうしても、都合がつかない場合は、市内のどの会場でも申告することができますので、都合のよい会場へお越しください。例年申告期間の後半は大変込み合いますので、早めの申告をお願いします。

なお、申告期間中は担当職員が申告会場へ行っているため、各庁舎窓口での申告はできません。ご協力ください。

また、平日忙しい方のために日曜日の申告相談日も設けています。（左表■の期日）平日に申告ができない方はご利用ください。

■各地域の申告会場

地 域	会 場
大 曲	大曲中央公民館研修室
神 岡	神岡庁舎3階大会議室
西仙北	西仙北庁舎3階第1会議室
中 仙	中仙庁舎2階会議室
協 和	協和庁舎4階大会議室
南 外	南外庁舎2階応接室
仙 北	仙北就業改善センター1階大集会室
太 田	太田文化プラザ1階生活実習室

年末調整が済んだ方でも、医療費控除や年末調整で提出していない控除がある場合、税務署に申告することで納めた所得税が還付されることがあります。

※各地域の詳しい日程については、別途配布する「地域版申告相談のお知らせ」をご覧ください。

便利な国税電子申告システム

所得税の確定申告にはインターネットでの国税電子申告システム（e-tax）が便利です。

利用には電子署名が必要なため、市役所で住民基本台帳カード（ICカード）の交付を受け（交付料1000円）、ICカードリーダーライターを購入するなどの事前準備が必要となります。

詳細は国税庁のホームページをご覧ください。

【問い合わせ】

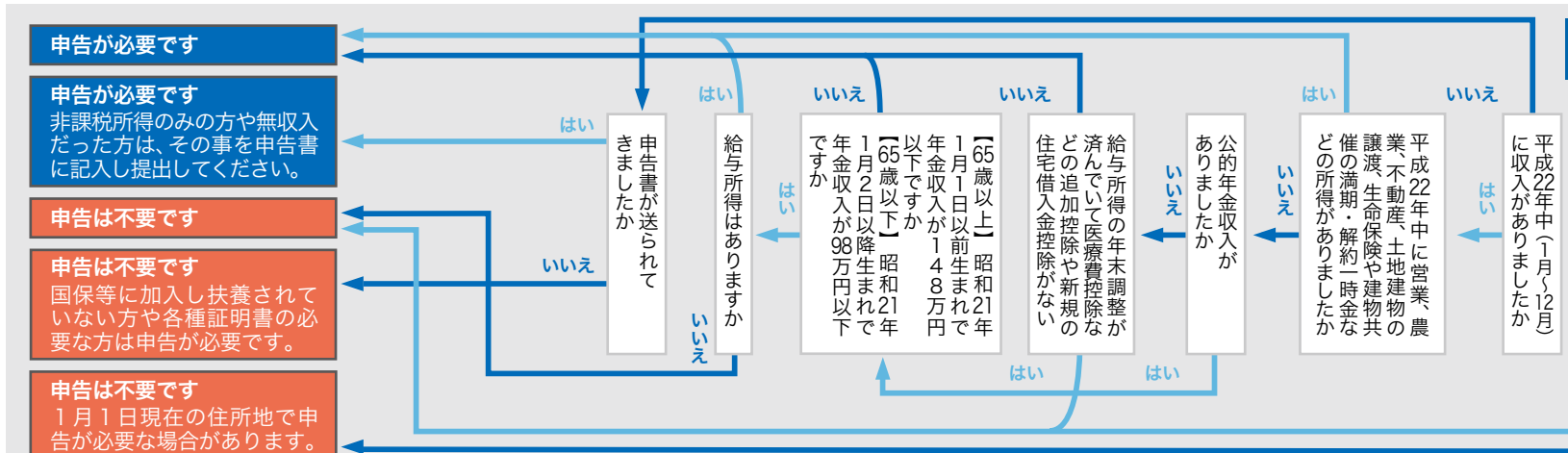
大曲税務署 ☎0187(62)2191

www.nta.go.jp

【e-taxでの確定申告のメリット】

- ① 最高50000円の税額控除（初めて利用する方のみ）
- ② 源泉徴収票や医療費の領収書などの添付書類の省略
- ③ 還付金がスピーディー
- ④ 24時間受付（送信）可能 など

申告は必要？不要？チェックチャート



鮭が遡る川

のぼ

内陸 68^{キロ}で繰り広げられる「^{いのち}生命の循環」

母なる川、雄物川の支流である玉川
花館地区でのサケの捕獲は、江戸時代から続き
明治には県として、そして昭和には市の事業として
ふ化放流が行われてきた
冬の風物詩として地域に根ざしたサケ漁だが
その価値も薄れ、廃止の危機に直面したことも
しかし、関係者の努力の結果、安定した遡上、
十分な採卵数の確保など、事業は順調に推移
海から68^{キロ}も離れた場所での営みとして
また、自然教育、ふるさと教育として
注目度や付加価値が増してきた
サケが遡る川「玉川」での
生命の循環取材した

雄物川と玉川の合流点から約500^{メートル}上流の玉川に設置されたウライ
悠久の昔からサケが遡上し、海へと旅立っていくこの地は、生命の循環の舞台





雨や雪でも作業する雄物川鮭増殖漁業生産組合の佐々木さん(写真右)と寺村さん



定置網を仕掛けていた玉川。網を引き上げるため多くの人が必要だった(昭和56年撮影)



捕獲したサケをトラックの水槽に投げ込む。サケが空を飛ぶ



川幅いっぱいに仕掛けられたウライの長さは127㍎。玉川は江戸時代から続く県内有数のサケの漁場だが、河口から68㍎も内陸に入ったところでサケを捕獲し、ふ化放流事業を行っているところはめずらしい

豊かな自然があるからこそそのサケ漁

history Interview

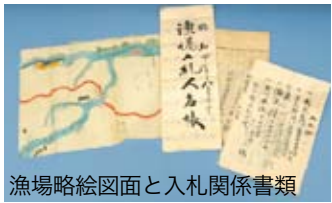
村の予算額をしのぐ、サケの漁場落札額

サケ漁の漁場の権利をめぐる争いが、古くは寛政、天保時代から昭和の年代に至るまで数度に及んでいると話すのは、市文化財保護審議会副会長を務め、郷土史に詳しい池田さん。

明治4年の廃藩置県で、旧藩時代の漁場許可が県に引き継がれ、そして花館村に権限が委譲されました。

明治16年度花館村外二カ村戸長役場(花館村、大曲西根村、蛭川村)のサケ漁にかかる特別会計「川方会計簿」の漁場落札額は1,023円13銭1厘。それに対し、明治20年度の村の予算額は959円16銭5厘。同じ年度の予算額が不明なので、直接比較できませんが、サケ漁の予算が村の予算を上回っています。

また、共有漁場純益金として村民へ配当され、明治26年で花館村390戸に95銭ずつ還付したという資料が残っています。米1俵の値段が3円66銭の時代です。



郷土史家
池田光さん
(花館上町)



きを上げて暴れるサケを捕まえ、岸まで運ぶ。そして、トラック荷台の水槽へ放り込み、ふ化場へと運ぶ。「雪でも雨でも関係なし。好きだからやめられねえ」と口をそろえる。「海でサケが捕れるのも、花館でふ化や放流を続けていればこそ。ここでは育てる漁業をしているんだ」と佐々木さんは胸を張る。

天然の産卵場が河川改修や水質悪化などにより激減する中、花館には産卵場が残っている。同地区の自然の豊かさと、ここで永々と続けられている人工ふ化と稚魚放流がサケの母川回帰を支えている。

は68㍎。生まれ故郷を目指すサケは7㍎10日ほどかけて花館近辺にたどり着き、わき水の豊富な場所を選んで産卵する。

しかし、川霧が立ち上る早朝、水温5度、気温は氷点下を指す中での作業は過酷だ。作業するのは雄物川鮭増殖漁業生産組合の佐々木豊さんと寺村徳昭さん。ともに父の後を継いだ地元の川漁師。ウライに引つかかったごみを取り除き、破損個所がないかチェックした後、捕獲槽の中でし



川底に取り付けられた抵抗板は浮力があり、水かさの増減に対応する



長さ4㍎の塩化ビニール製パイプを板状に組んだ抵抗板



重機を使っのくい打ち作業。今年のウライ設置作業は10月2、3日実施

藩政時代から続く漁場

初雪の便りが聞こえ始める初冬。サケ漁は本番を迎える。

雄物川と玉川が交わる大曲地域花館は、藩政時代から続く県内有数の漁場。合流点から約500㍎上流の玉川には、毎年10㍎12月、国内最大級の「ウライ」と呼ばれるサケの捕獲装置、やなが仕掛けられる。川幅いっぱい127㍎を柵で仕切り、上つてきたサケを捕獲用の槽に誘い込む。雄物川水系でこのような大掛かりな「川止め漁」を続けているのは、花館だけだ。

雄物川には古代からサケの大群が遡上。花館周辺は昔から

サケの習性を利用して

サケは3㍎5年の海洋生活を経て、秋口から初冬にかけて生まれ育った川に産卵のため戻ってくる。その習性を利用して、資源の増加を図るのがふ化放流事業。村上藩(新潟県)の下級武士青砥武平治が世界で初めてサケの母川回帰性を発見。新潟県村上市を流れる

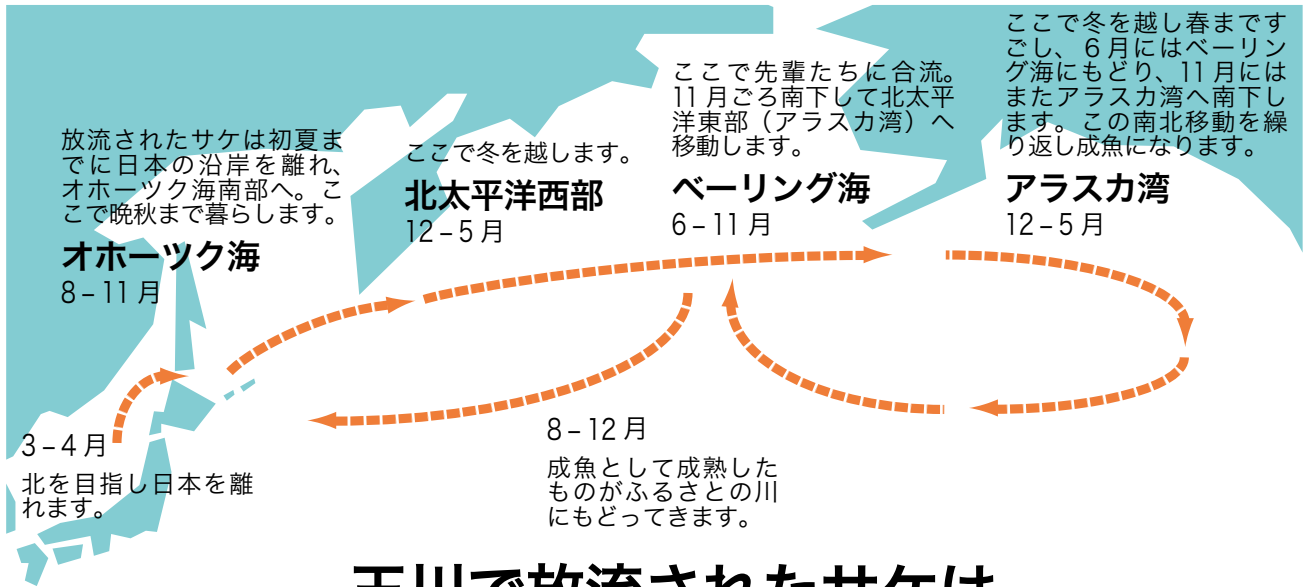
身を切る寒さの中で

以前、花館では玉川の定置網と雄物川のウライの双方で漁を行っていたが、増水のたびにウライを流失し、何度も休漁を余儀なくされてきた。このため平成6年からは玉川での漁に一本化。雄物川に比べて川床の砂利が重い

アイヌ語で魚の捕獲装置「やな」を意味するウライ花館に仕掛けられるウライは国内最大級の大きさ。玉川の川幅いっぱいに仕掛けられた大型装置では多い時で1日200匹以上のサケが捕獲される。毎朝、身を切るような厳寒の中での作業が続く。

全長127㍎、日本最大級のサケ捕獲装置

ウライ



玉川で放流されたサケは、海を旅して大きくなり 3～5年でふるさとに帰ってきます



取材日の大物は体長83㍓、体重6.1㍓。ウロコから5年魚ではないかと判断される



捕獲したサケの体長と体重が記録され、そしてウロコが採取される



採卵した卵に放精する



精子と卵を混ぜ合わせ、真水に漬けることで受精が完了

捕獲されたサケから採卵し、受精させる。受精卵から約2カ月後、サケの赤ちゃん（しぎよ）が誕生。おなかに栄養たっぷりのふくろを持つ仔魚（しぎよ）は、体長約1㍓、体重約5㍓の稚魚になるまで育て、ふるさとの川に放流。長い旅が始まる。

ふ化場

年間約225万尾を放流



1 雌からあふれるオレンジ色の卵。1尾当たり2,500～3,000粒が採卵できる
2 ふ化場の玄関には木彫りのサケ
3 水揚げされた雌サケ



受精から約1カ月後の発眼卵



ふ化した仔魚。栄養がたっぷり入った「さいのう」をおなかに抱える

240万粒を採卵

サケの腹からあふれ出る光り輝くオレンジ色の粒。雌サケ1尾から2500～3000粒の成熟した卵が採れる。ウライが設置される10月～12月の間に捕獲されるサケは約4000尾。ふ化場では1シーズンに240万粒を採卵する。

玉川への回帰数は県内有数だ。希少な天然の産卵場を有する豊かな自然を生かしながら、小さな生命ははいねいに育てられ、恵みの川へと放流される。

今季は大物が遡上

水揚げされたサケは、2㍓離れた場所にある大仙市営水産ふ化場に運び込まれる。職員が瞬時に性別を見分け、仕分けられたサケは、体長と体重が記録され、年齢を調べるためにうろこが採取される。

採卵された卵に複数の雄の精子をかけて混ぜ合わせ、真水に漬けると受精は完了。作業は手際よく進められる。

中には身をえぐられた痛々しいサケも見られる。密猟の「がら掛け針」で傷付けられな

がらも必死に産卵のために遡上したものだという。サケがもつ回帰本能に脱帽する。

採卵作業のピークは11月下旬。多い日で200尾以上が水揚げされる。

「今年の最高は198尾。しかし、120尾以上の日が9日続き、捕獲されるサイズも大きい。放流されて3年から5年で遡上するサケ。例年3㍓の3年目のサケが多い中、今年は4㍓の4年魚が多いですね。4年前も豊漁で、その年に放流したサケが戻ってきたのでしよう」と職員の三浦正人さんは自然の循環について話す。

長い旅の始まり

成熟した卵の直径は7～8㍓。それらの卵を受精させ、水温8度の状態で約1カ月後には眼が現れる。発眼卵さらに約1カ月かけてふ化。サケの赤ちゃんに必要な栄養がたっぷり入り、ぷっくりとした袋状の「さいのう」をおなかに抱えた仔魚（しぎよ）が次々とかえる。そして、おなかの袋は徐々になくなり、自分でえさを食べられる稚魚に成長する。

3～5年後の8月から12月にかけて生まれた川に戻ってくる。

県内唯一の公営ふ化場

海に出たサケは北を目指し、初夏までに日本の沿岸を離れる。オホーツク海南部で晩秋まで暮らし、北太平洋西部に移動して冬を越す。翌年の6月までにベーリング海へ移動し、ここで仲間と合流し、11月ごろ南下して北太平洋東部（アラスカ湾）へ移動する。アラスカ湾で越冬し、6月にはベーリング海にもどり、11月にはまたアラスカ湾に南下。この南北の移動を繰り返して成魚になる。放流されてから

116年前の明治28（1895）年、県内最初の県営ふ化場が大曲地域の大川西根に創設。花館は採卵場として事業を開始した。32年には現在の場所に移転。大正15年に花館共同漁業団と合併。昭和33年には旧大曲市に譲渡され、市営水産ふ化場として事業を開始。47年からは雄物川鮭増殖漁業生産組合に事業委託。平成3年には組合経営を再建。同組合は捕獲部門を担当し、ふ化放流部門を市鮭ふ化放流事業組合が担当している。

a memory Interview



大嶋清吉さん（花館柳町）

高級魚、重要なタンパク源でしたと話すのは、大正11年生まれの大嶋さん。子どものころのサケ漁は現在の玉川ではなく大戸川（おおどがわ）で行われ、サケ漁を見に行ったり、アユ捕りによく出かけたことを懐かしむ。

「昔は大漁だった。収穫への感謝だね。千本祭について父親から聞いたことがある。花館小唄にも『踊るサケノヨ千本祭、と歌われる』と話します。『花館さ嫁っこに来た人が正月に実家に帰るときには、サケを土産に帰ったもんだ』と当時を思い起こす。

花館の嫁っこは、サケを土産に帰省した



サケを使った料理もいろいろ。写真右上から時計回りにイクラのしょうゆ漬け、紅葉漬け、薫製、ルイベ
食料保存用に使用されている佐々木さん宅の「室(むろ)」。

サケ三昧

120年続く味、ここだからこそ味わえる

食す

good use **interview**



市サケふ化放流事業組合

今後は地元の人が使つて樂しめる川を


 の魚として法律で守られているサケ。ふ化放流を海のためだけではなく、地元も恩恵に預かり、市民も楽しめる事業に変えていかなければと話す三浦さん。

「採卵数を確保すれば、それ以上の親魚は余剰となる。余剰分で釣りを楽しむなど、川の恵みを地元へ還元しなければ、ふ化放流は持続可能な事業にならないと思います」と規制の緩和を強く望んでいる。

「市のサケを利用した事業といえは自然学習の教材ぐらい。もっと付加価値をもった川とのかきあい方を考えなければならぬ時期」と提案する。

ちまかく
釣獲調査を実施

川霧が立ち込める玉川で11月27日午前7時、サケの遡上状況と資源の有効利用を目的とした調査が開始された。

玉川は天然産卵に適した場所。ウライ下流部で産卵する親魚は、その場にとどまる傾向が強く、その後遡上するサ

ケもならつて、そこで産卵する場合が多い。結果ウライでの捕獲数が減少。捕獲数を増やすためには、ウライ手前での釣りが有効手段となる。

4 時間の調査で、体長が小さく放流したものもあつたが9尾(雄7、雌2)の釣果。中には83^サ、6・4^キの大口物が釣れるなど調査の目的を達成した。

釣る

観光資源としての新たな可能性を秘め

新たな観光資源として

「引きの強さ、釣りとして十分な観光資源」といった声も聞かれる中、調査員の武埴章太さん（戸蔭大槻・39歳）は「来年もぜひ参加したい」と話す。

しかし、サケ漁の許可権をもつ県は資源保護が第一目的で、観光資源としては許可しないとの見解を示している。

山形県の寒河江川などでは、サケ有効利用事業として、期間を定め釣りを実施。釣り人から利用料を徴収し、その収入をサケふ化放流事業に還元している。

血税でまかなわれている事業の自主財源の確保。玉川でのサケ漁という伝統文化を市の共有財産として、市民に恵みが還元される川を目指し、今後とも市は県との協議を進める。

釣り三昧

午前7時、川霧の中、釣獲調査
が開始
仕掛けは小魚に似せたルアー
引きの強さ、竿を伝わる感触
は釣り人をとりこにする
83㌔、6.4㌔の大物も釣られた



産卵環境が整っている玉川は天然産卵場の宝庫
ウライの手前で自然産卵するサケも多く
それらがウライでの捕獲数を減少させるという
ウライ下流部のサケを効率よく捕獲するための釣り
資源の有効利用と新たな観光の可能性を秘める

その昔、内陸で生魚が食べられるのは遡上の時季だけ貴重な食材として余すところなく食べ尽くしたその料理方法もさまざまで、知恵が詰まっている玉川ならではの料理方法があり、楽しみ方がある120年続く伝統の味が、ここにはある

き」、こうじを使った「紅葉漬け」、そして「すし」「薫製」「ルイベ」など。調理法は実に多彩だ。中でも佐々木家の正月に欠かせない一品は紅葉漬け。

ように色付くと、味に深みが
増して食べごろとなる。佐々
木さんは正月用、ぼんでん用、
そして田植え後のさなぶり用
に年3回漬ける。

皮をはいだ切り身⁴に塩
1^キをふって1週間ほど漬
け、こうじ1升(約1.5^キ)とザ
ラメ1^キを加えてさらに40日
漬け込む。身が紅葉した葉の

「こうじはその家によつて味が違う。同じように漬けても味が異なるからおもしろい。わが家の紅葉漬けは佐々木家の味だ」と笑う。

どこにも負けない、豊かな恵みがある

先代から引き継いだ川漁師。
「オレの家さなば、水をつかさどる竜神様を祭ってる。神棚の幣束（はいそく）の色は五色で、花館ではオレのどこし軒だべ。」

と暮らしと川の結びつきの強さを教えてくれる。川に携わり、いろいろなことを学んできた。数年前から組合員や地域住民にサケ料理の方法などを広めている。

川には楽しみがあると話す佐々木さん。「どこにも負けない、素晴らしい自然がここにある。玉川は恵みの川だ」と胸を張る。



food **interview**



雄物川鮭増殖漁業生産組合

佐々木 豊さん
(花館間倉)



地域文化を後生に、そして地域活性化

- ❶ 学年ごとに分かれてのサケのつかみ取り。会場は大きな笑い声と歓声に包まれた
- ❷ 見学用の足場を使ってウライを見学
- ❸ ふ化場ではサケの一生を学び、採卵作業を見学
- ❹ サケの雄(上)と雌では顔つきが違う
- ❺ 玉川の味、イクラ丼とサケ汁に舌鼓



サケのつかみ取りは、かげがえのない経験



脈々と受け継がれる地域文化を再発見

サケまつり

花館地区の誇れる財産であるサケ漁
 同地区には国内最大級のウライとふ化場がある
 悠久の昔から先人が受け継いできた営み
 この地に受け継がれる地域文化を再発見することで
 地域の姿や価値、そして大切さが見えてくる

ウライとふ化場見学

会場にはたくさんの笑顔と笑い声が響いた。11月6日、第3回「サケまつり」が玉川河川敷と市営ふ化場で行われた。以前の「ウライ見学とサケ試食会」をイベント化。ウライだけでなく、ふ化場も見学し、玉川で行われている捕獲、採卵、受精、ふ化、養魚、放流という一連の流れを体験。そしてサケのつかみ取り、イクラ丼やサケ汁の試食で川の恵みを実感した。

参加者は花館小児童と地域住民約200人。国内最大級のウライ見学では、捕獲の担当者から装置の仕組みなどについて説明を受けた。その後、バスでふ化場に移動し、サケの一生について学んだ後、採卵や受精作業を見学。また、ふ化場近の発眼卵を手に取り、命の大切さ、不思議さを学んだ。

つかみ取り、そして試食

メインとなるサケのつかみ取りは、花館小児童限定のイベント。参加者分のサケが用意され、特設いけすに放された。中にはイクラを抱えた雌の姿もあり、歓声を上げながらつかみ取りを

楽しんだ。寒さも忘れ、サケと格闘する子どもたち。その姿を優しく見守る大人たち、会場は和やかに、そして大きな笑い声に包まれた。
 試食会では、イクラ丼とサケ汁が振る舞われた。玉川産のイクラは、とにかくプリプリした食感がたまらない。サケ汁には、ここで捕れた川ガニも食材として使われており、ここならではの風味とうま味を楽しむことができた。

悠久のストーリーを伝える

自然豊かな花館地区。同地区では「姫神公園」、風物詩「川を渡るぼんடன்」、そして「サケの遡上」の3つを核に地域の活動を展開している。地区のまちづくりグループ「花館コミュニティ会議」では、この先人から受け継いだ地域文化を後生に残し、それを地域活性化につなげようと頑張っている。

サケまつりは3部構成で行われている。大きなイベントの第1部。第2部は、ふ化したサケの稚魚を地域の人たちで育て観察する。そして最後は、春3月に花館小学校を卒業する6年生が玉川で放流。ともに巣立ちを祝い、大きくなってふるさとに帰ってくることを誓うという筋書きだ。

地域資源を有効に活用し、子どもたちを中心にしながら有形無形の財産を学ぶ。地域の持つ力を上手に次代へと引き継いでいる。

悠久の昔から繰り返されてきたサケの遡上。生まれ故郷を目指して河口から68㎞も内陸へ上ってくる、終わりのない生命のリレー。

玉川への回帰数は県内有数、数え切れないほどのペアが浅瀬の川床を掘り返して卵を産み付ける光景を目にする。これも豊かな自然の恵みと、毎年繰り返されてきたサケのふ化放流事業の成果にほかならない。

花館小学校6年生が卒業間際に行っている「旅立ちの式」。子どもたちの小学校卒業にサケの旅立ちを重ね合わせ、命をつなぐ瞬間に立ち会う。豊かな自然の恵みを実感し、ふ化放流の意義やふるさと大切さを再確認する。同席する大人たちは、期待を込めて「大きくなくても古里を忘れるな。サケのように戻って来い」と心の中で子どもたちのすこやかな成長を祈っているに違いない。

晩秋から遡上を始めるサケ。玉川には産卵を終え、命のエネルギーを使い果たし、子孫を残して力尽きるたくさんのサケを見ることが出来る。そのしかばねの役目はそこで終わりではない。海を回遊し成長を続け、蓄えた養分はそこに住む生物たちに分配され、次代

を育てる糧となる。私たちの周辺では食物連鎖や生態系が絶妙のバランスを保って存在している。

「魚」偏に「圭」と書くサケ。「圭」は「三角形にとがった、形がよい」という意味。鮭は「すらり」として形がよい魚」ということらしい。しかし、川底の砂利で生まれ、大海を回避し、やがて母なる川で土に返るサケの「母川回帰性」を「魚」偏に「土」2つの漢字で見事に表現していると話す人がいる。

3〜5年のサイクルで営まれる生命の循環。長い歴史から見れば、私たちの営みも同じような意味を持つている。

大仙に生まれ、ここで育つ私たち。人々と川の関係を取材し、現代に生きる私たちが、豊穡の大地の中で次代のために「何が出来るのだろうか」ということを考えさせられた。

生命をつなぐことはもちろん、地域の太いぎずなを大切にしながら、先人から引き継いだ財産をより豊かに変えてリレーする必要があることを痛感した。

【特集】鮭が遡る川(完)

【花館だけでなく、市内各地の子どもたちが放流事業を体験している】



私たちが卵から育てたサケがふるさと花館を旅立ちます

サケは大きく成長して、どんな困難にも負けず花館にもどってきます

私たちはサケを通して花館を盛り上げていこうとする地域の方々の熱意を感じました

私たちはもうすぐ花館小学校を卒業します

私たちも花館地域の一員としてサケに負けないよう一生懸命がんばり地域に貢献できる

大人になることを誓います

花館小学校「旅立ちの式」呼びかけから

第3回大仙農業元気賞



これからの農業発展のために貢献している3人へ
栗林次美市長から表彰状が贈られた

若きリーダーとして市の農業をけん引する農業者を表彰する大仙農業元気賞の表彰式が12月2日、農業関係者など約90人が出席し行われました。

今年で3回目となる農業元気賞受賞者は、花きや野菜などに取り組んでいる伊藤千秋さん(27) =南外=、畜産の佐藤匠さん(27) =仙北=、花きの田村辰徳さん(27) =太田=の3人。自身の技術向上のみならず、後進の育成にも尽力するなど、若きエースとして市の農業発展のために大いに貢献されています。



「これからもさまざまな農業に挑戦したい」
伊藤千秋さん



「新しい活力ある家畜市場を築いていきたい」
佐藤匠さん



「若い生産者を盛り上げ、高い技術を身に付けたい」
田村辰徳さん

読 ショートステイ神岡の利用者と触れ合う 読 売巨人軍監督・原辰徳さんが訪問

読売巨人軍監督の原辰徳さんが12月7日、ショートステイ神岡(小田原秀行代表取締役・利用者27人)を訪れ、利用者や地域の方々と交流しました。

親交がある秋田市の会社社長の招きで、毎年シーズンオフに来県し施設などを訪問。今回は、同施設のほか、西仙北高校などを訪れました。

あいさつで原さんは「大曲の花火が行われる大



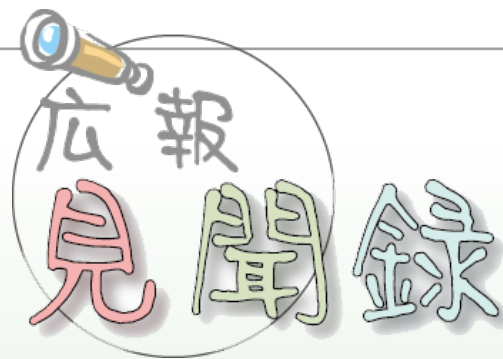
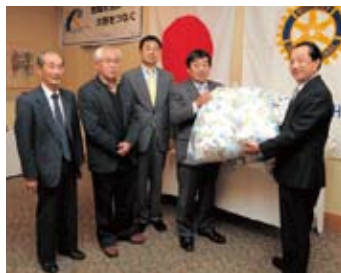
「来シーズンは日本一を目指し頑張りたい」と力強く抱負を語った原さん

大 ポリオ撲滅を願う「エコキャップ運動」 大 曲4ロータリークラブがキャップを寄贈

大曲・大曲南・大曲中央・大曲仙北4つのロータリークラブが12月8日、ペットボトルのキャップを秋田トヨタ自動車大曲店へ寄贈しました。

ペットボトルのキャップを集め、ポリオで苦しむ発達途上国の子どもたちへワクチンを贈る「エコキャップ運動」。大曲4ロータリークラブでは昨年7月から運動を展開、184㌔(92人分のワクチンに相当)のキャップを集めました。贈呈式では、大曲中央ロータリークラブ会長の佐藤芳雄さんをはじめ4クラブの会長から、秋田トヨタ自動車大曲店課長の伊藤廣美さんへ贈呈。今後、キャップは換金され「世界の子供にワクチンを日本委員会」を通じてワクチンに換えられます。

ペットボトルのキャップを集めポリオワクチンに換える「エコキャップ運動」にご協力ください



大仙市グラウンド・ゴルフ連盟
三浦龍雄さん
(大曲地域花館・83歳)

大曲グラウンド・ゴルフ協会の会長職に尽力。連盟の設立では、記念大会やルール・マナー講習会等を企画運営するなど、副会長として競技の普及と発展に貢献されました。



大仙市体育協会太田支部
草薨隆雄さん
(太田地域横沢・69歳)

太田町体育協会理事として地域の社会体育活動の中心で活躍。野球振興に欠かせない審判員の育成に尽力し、競技の発展・レベルの向上に貢献されています。



大仙市自転車競技連盟
細谷孝二朗さん
(神岡地域神宮寺・67歳)

長きに渡り自転車競技に対して深い理解と情熱をもち、競技の普及活動に尽力。秋田わか杉国体では、中心役員として組織の充実と円滑な大会運営で、国体開催に貢献されました。



大仙市体育協会神岡支部
伊藤久さん
(神岡地域北檜岡・62歳)

全県500歳野球大会の第1回大会から運営に尽力。全国屈指の大会へ成長させました。町長杯争奪戦野球大会、野球資料館開館等、野球を通して地域活性化に貢献されています。



大仙市体育協会中仙支部
渡邊金治さん
(中仙地域北長野・80歳)

中仙町体育協会において28年間に渡り理事長職に献身。地域の体育文化の振興に大きく貢献するとともに、合併後の大仙市体育協会中仙支部の設立に尽力されました。



大仙市バレーボール協会
飯村次男さん
(大曲地域小貫高畑・73歳)

大曲市バレーボール協会、大仙市バレーボール協会の要職を歴任。この間、協会の合併、スポーツ少年団の設立、各種大会の開催など、競技の普及促進に尽力されました。



大仙市体育協会仙北支部
土井文夫さん
(仙北地域松田・68歳)

仙北町体育協会事務局長、副会長、理事長、会長を歴任。組織運営基金の確保や町スポーツ賞の制定などに率先して取り組み、地域のスポーツの普及促進・振興に貢献されています。



大仙市剣道連盟
佐々木茂さん
(大曲地域花館・66歳)

大曲仙北地区の社会人剣道練習会を立ち上げ、剣道の普及に一般社会人の先駆者として貢献。幼少年のために剣道講習会を開催するなど、剣道競技の発展に尽力されました。



大仙市体育協会協和支部
佐川宣夫さん
(協和地域稲沢・61歳)

協和町体育協会において、長年にわたり要職を務め、協和スキー場への秋田県スキー連盟事業や各種大会の誘致などを積極的に推進。スキー場設立時から運営に貢献されています。



大仙市体育協会西仙北支部
加沢公啓さん
(西仙北地域刈和野・58歳)

長年、西仙北町刈和野体育協会の会長を務められ、黒森山健康マラソン大会などの開催に尽力。西仙北町体育協会副会長として地域の体育文化振興に貢献されました。

栗 戊辰戦争が縁で宮崎市と交流 林次美市長が宮崎市を訪問

11月14日から16日まで、栗林次美市長が宮崎市を訪問し、口蹄疫被害を受けた地元農家や各施設を視察しました。

141年前、協和境周辺が戊辰戦争の戦場となり、秋田藩の援軍として佐土原藩士約100人が参戦。このうち境周辺で戦死した8人を手厚く供養していることを知った佐土原町の遺族が協和を訪問。平成13年に有縁交流提携を結び、現在でも交流が続いています。(佐土原町は平成18年に宮崎市と合併)

宮崎市役所を表敬訪問した際には、口蹄疫で被害を受けた農家へ大仙市民のみなさんから義援金が寄せられたことに対して、戸敷正宮崎市長から市民のみなさんへ感謝のメッセージが栗林市長に手渡されました。



戸敷正宮崎市長(写真右)から栗林市長に感謝の手紙が手渡された



算数や数学のおもしろさをさまざまな道具を用いて、視覚的に分かりやすく伝える秋山さん

夢 発想の泉を掘り起こせ 講座！秋山仁さん in 大曲小学校

数学の伝道師、数学者の秋山仁さんを招いての講演会が12月7日、大曲小学校(茂木達彦校長)で開かれました。同校が特色ある教育活動支援事業を活用して企画。5、6年生を対象とした特別授業と保護者や地域住民を対象とした講演を行いました。

特別授業「算数一直線」では「身の回りのいたるところに数学の理論が生きている。努力すれば不可能が可能になる。努力する習慣を身に付けよう」と子どもたちを激励。また、保護者対象の講演「数学一直線」では、「基礎・基本の考え方を身に付けることが大切。知識を使いこなすためには基礎・基本の考え方が分からなければならない。子どもたちの発想の泉を掘り起こすような教育活動が重要」と発想豊かな若者を育てようと話しました。

協 少年よ大志を抱け 和中学校吉村作治講演会

エジプト考古学者の吉村作治さんを講師に招いての講演会が12月13日、協和中学校(千田文和校長)で開かれました。

講演には協和中全校生徒のほか、協和小6年生などが参加。演題は「夢を実現したい君たちへ～君たちのエジプトを見つけよう～」。



子どもたちに自分がエジプトで夢を見つけたように夢をもつことの素晴らしさを話す吉村さん

後 明るくぬくもりを感じる施設 三年鴻声の里 竣工式

社会福祉法人・水交会(高井慶蔵理事長)が移転改築を進めていた障害者支援施設「後三年鴻声の里」が完成。12月7日に竣工式を行い、入所者や職員、工事関係者ら約220人が出席し完成を祝いました。

昭和50年に開設した施設の老朽化が進んだため、約200㎡離れた場所で昨年12月に工事に着手。鉄筋コンクリート平屋建てで床面積2,520平方メートル。内装に杉材をふんだんに使い、大きめの窓を設置するなど、明るくぬくもりを感じるデザインで、段差のない構造になっています。

式では、高井理事長が「利用者が『入所して良かった』」と思ってもらえるよう努力し、地域福祉の拠点として、利用者の視点に立ったサービスを提供していく」とあいさつしました。



栗林次美市長ら関係者が完成を祝いテープカット

あ 審査員特別賞を受賞 きたふるさと手づくり CM 大賞 2010

12月13日に秋田朝日放送で放送された「あきたふるさと手づくりCM大賞2010」で本市CM作品が審査員特別賞を受賞しました。

本市CM作品は大曲高校放送部と協力して制作。JA秋田おぼこ中仙支所ほうれんそう部会が以前作成していた「ほうれんそう音頭」を素材として使用し、大仙市の元気をピーアールしました。

大曲高校放送部をはじめ、出演者や関係者のみなさん、ご協力ありがとうございました。

なお、副賞として年間50本のCMが県内で放送されます。また、12月31日午前9時30分からAAB秋田朝日放送で番組が再放送されますので、ぜひご覧ください。

12月16日、大曲庁舎で行われたトロフィーの贈呈式CMの企画・制作などを行った大曲高校放送部の小松安那さん、藤原有希奈さん、明平紳さん(写真前列右から順)やCMに出演した高橋オオさん(中仙地域清水・写真前列左から2人目)などが出席。AAB秋田朝日放送からトロフィーが贈呈された

大 大曲小・大曲中がマーチング全国大会で活躍 大曲中がマーチング全国一に

埼玉県さいたま市で12月18日・19日に行われた「第38回マーチングバンド・バトントワーリング全国大会」で、大曲中学校吹奏楽部(鈴木幸栄顧問・部員97人)が大編成の部で4年連続の金賞を受賞し、編成別最優秀賞に選ばれ全国一の栄光に輝きました。

「この世に生をうけ、今ここに存在していることに感謝して生きる」など「禅」の心をテーマに表現。これまで僅差で逃していた、悲願の全国一の座をつかみ取りました。なお、同大会には当市から大曲小学校マーチングバンド部(高橋猛顧問・部員57人)も出場し、銀賞に輝きました。



12月11日に大曲体育館で行われた、大曲中学校吹奏楽部の壮行演奏会のようす。ドリルの演奏とガードの演舞が絶妙なハーモニーを生み出す



佐 長寿を祝う 々木武治さんが100歳に

太田地域国見の佐々木武治さんが12月15日に100歳の誕生日を迎えられ、佐々木さんの自宅で山王丸愛子副市長から長寿祝い金を手渡されました。

佐々木さんは同地域駒場の生まれ。30歳のときに妻タツエさんと結婚し、農業を営みながら3人の子どもを育てました。

現在は長男夫婦との3人暮らし。9月に自宅で転倒してからはベッドで過ごすようになってしまいましたが、家族からの温かい支えを受けながら生活しています。



山王丸副市長の「おめでとうございます」との呼び掛けに「おかげさまで」と応えてくれた佐々木さん。家族と記念撮影



正月料理の一品に サケの竜眼揚げ

1個のエネルギー 130kcal、塩分 1.4g

材料(4個)

生サケ…………… 120g
うずらの卵…………… 4個
ショウガ汁…………… 大さじ1
しょう油…………… 大さじ2
片栗粉…………… 適宜
揚げ油…………… 適量

作り方

- ① サケは4枚に薄く、そぎ切りにする。
- ② ①でゆでたうずらの卵を巻きつまようじで止める。
- ③ ショウガ汁としょう油を混ぜたものに②をからめる。
- ④ ③に片栗粉をまぶしながら形を整え油で揚げる
- ⑤ 半分に切って盛りつける。

中野家になくてもならない正月の定番 たらこごぼう

1人分のエネルギー 86kcal、塩分 1.5g

材料(10人分)

ゴボウ…………… 300g
真タラコ…………… 200g
豆腐…………… 400g
しらたき…………… 200g
砂糖…………… 大さじ2
塩…………… 小さじ1

作り方

- ① ゴボウは細い千切りにして、米のとぎ汁につけておく。
- ② しらたきはゆでてアク抜きをする。豆腐は人肌に温めて、クッキングペーパー等でしっかりと水気を切る。
- ③ 真タラコの皮を取ってほぐしておく。
- ④ 鍋に水切りしたゴボウと②③を入れてよく混ぜる。弱火でからいりしながら調味料で味を整える。(約30分)ふつくとしたら出来上がり。

POINT

- ※ 真タラコは一晩塩漬けをして水分を出しておく。あれば塩漬けの真タラコを用意しておくとい
- ※ 火が通りやすいようにゴボウはしらたきよりも細く切ります

中野 文子 さん
(仙北支部)



健康はバランスよい食事から

ヘルスメイトさんのレシピ



国道46号沿いの高嶋幸生さん宅(協和稲沢)はクリスマスシーズンになると毎年イルミネーションに包まれます。「多くの人に見て楽しんでもらいたい」と高嶋さん。メルヘンの世界を演出する電飾は年越しまで点灯される予定です。

ペ アーレ大仙にキッチンスタジオができて嬉しいです。料理を作るのが好きなので、機会があったら料理教室に参加し、いろんな料理にチャレンジしたいです。
(大曲地域 38歳女性)

フ オースケッチ「錦秋の旧池田氏庭園」が素晴らしいと思いました。今度見学に行つてみたいです。
(神岡地域 61歳男性)

先 日、ラジオを聴いていたら「冬の花火は誰も興味がない」というフレーズが流れました。ということは、大仙市民は大眾から感覚がずれているのでしょうか。季節に関係なく花火が大好きな市民。素敵です。
(大曲地域 45歳女性)

大 曲の花火の特集を読み、改めて花火師の心意気に感動しました。まだ会場で鑑賞したことがないので、来年こそは行つてみたいと思います。
(大曲地域 30歳女性)



お便りお待ちしております

「お便り広場」はみなさんのページです。市政に対する質問・意見など、みなさんの遠慮のない声をお聞かせください。

あて先はこちら

〒014-8601 (住所不要) 大仙市企画部総合政策課
手紙・ハガキ、FAX (0187-63-1119)
またはEメール (kouhou@city.daisen.akita.jp) で送ってください。なお、Eメールの場合は件名に「お便り広場」と記入ください。



毎 号楽しみにしています。花火と旧池田氏庭園の写真が素晴らしいかったです。市外に住んでいる大曲出身の友人に広報を送りたいと思います。
(大曲地域 62歳女性)

南外総合支所農林振興課から
南外の特産として栽培されている「ほほえみカボチャ」の生産農家は20戸ほどあります。出荷の最盛期は8月から10月ごろまで、人気商品として市内スーパーの店頭にも並びます。
今の時期は店頭に並んでいませんが、JA秋田および南外営農センターに問い合わせいただければ販売先や販売農家などを紹介します。
【問い合わせ】
JA秋田および南外営農センター
☎0187(73)1311

総務課から
広報などの配付物は、市が委嘱した行政協力員に配付を依頼しています。広報には行事予定や市からのお知らせなど多くの情報を掲載していますので、行政協力員のみなさんにはできるだけ早い配付をお願いしています。しかし、仕事やその他の都合上、配付期限を設けていないのが実情です。
市では行政協力員のみなさんに再度お願いしてまいりますが、配付が遅くなることが続く場合には、総務課へ連絡ください。
【問い合わせ】
総務課
☎0187(63)1111
内線209

花火はとてきれいで感動しますが、大会が始まるまでの間このまちで過ごして「来年も見に来よう」と思ってくれる人がどれほどいるんだろうと思いました。
市民が満足できて、観光客も過ごしやすい中心市街地を造るにはどうしたらいいのか、何か良い方法はないのかと一市民として時々考えています。「市街地再開発事業」がその第一歩になってほしいです。
(大曲地域 27歳女性)

おおきなせなかに お便り広場

12月号・12月号お知らせ版へのお便り

今回寄せられたのは 19 通

内訳／ 感想 17 質問 2

新 たなる100年の始まり「百歳百彩」は、大曲の花火を多角的に検証した見事な特集でした。大会提供花火はまさに圧巻そのものです。
仙北組合総合病院の移転・新築を柱にした大仙市中心市街地活性化基本計画が国の認定を受け、いよいよ動き出すことになり、うれしく思います。事業が計画どおり進行し、活性化の大輪の花が咲くよう心から願っています。
(西仙北地域 75歳男性)

毎 月だいせん日和からいろいろな情報を得て、生活の向上を図っています。
レシビのコーナーで南外特産の「ほほえみカボチャ」を初めて知りました。どこで売っているのか知りたいです。
(大曲地域 76歳女性)

私 が住んでいる地域では、広報が発行日の1週間後くらいに届きます。行事などに行きたいと思っても、情報を知った頃にはもう期日を過ぎてしまっています。他の方に聞くと「発行されてすぐ届いた」と言っていました。
どうして地域によってこんな配布時期の差が出るのでしょうか。市ではどんな対応をとっていますか。
(市内)

中 心市街地のメインデパートだった「ジョイフルシティ大曲」が無くなり、駅周辺に行くことも少なくなりました。営業当時はよく立ち寄りたり、食事したりしていました。
デパートが無くなって初めて「必要性」を感じます。それを感じたのは、大曲の花火の時。大勢の観光客を見て思いました。花火の時のためだけにデパートなどを建てるわけにはいきませんが「遠くからはるばる見に来てくれているのに、ゆっくり休んでもらえる場所も少ない」「雨が降っても雨宿りできる場所もない。急に必要物があっても安く買えるお店がない」とさまざまな気持ちが頭をよぎりました。
花火はとてきれいで感動しますが、大会が始まるまでの間このまちで過ごして「来年も見に来よう」と思ってくれる人がどれほどいるんだろうと思いました。
市民が満足できて、観光客も過ごしやすい中心市街地を造るにはどうしたらいいのか、何か良い方法はないのかと一市民として時々考えています。「市街地再開発事業」がその第一歩になってほしいです。
(大曲地域 27歳女性)

健康通信

【問い合わせ】

健康増進センター ☎ 0187-62-9301

健康増進センター各分室

大曲分室 ☎ 0187-62-1015	協和分室 ☎ 018-892-2003
神岡分室 ☎ 0187-72-4606	南外分室 ☎ 0187-74-3007
西仙北分室 ☎ 0187-75-0476	仙北分室 ☎ 0187-69-3800
中仙分室 ☎ 0187-56-7211	太田分室 ☎ 0187-88-1313



接種の受け方を確認ください
日本脳炎予防接種について



対象者および接種回数

	回数	標準的な接種時期	対象者	間隔
1期初回	2回	3歳児	生後6カ月から 7歳6か月未満	6日～ 28日
1期追加	1回	4歳児（1期初回接種後おおむね1年おく）		
2期		9歳	9歳以上13歳未満	

日本脳炎予防接種の第1期(初回2・追加1回接種)は、3歳の誕生日を迎えてから7歳6カ月未満までに受けましょう。すでに第1期を終了した子どもは、9歳から13歳未満の間に第2期(1回接種)を受けましょう。

◆接種料金／無料

◆接種方法／予診票に必要事項を記入し、予防接種実施医療機関で接種してください。
※予診票が無い方は、母子健康手帳を持参の上、健康増進センター各分室にお越しください。

1期接種(初回2回、追加1回)を受けられなかった子どもへの特例措置

【過去に1～2回接種を受けた子ども】

1期の不足分(1～2回)を生後6カ月から7歳6カ月、9歳以上13歳未満の年齢時に、それぞれ6日以上の間隔をおいて接種

【9歳以上13歳未満で

1期の接種を全く受けていない子ども】

6日から28日までの間隔をおいて1期初回を接種し、おおむね1年経過した時期に1期追加を接種

【7歳6カ月を超え9歳未満の子ども】

9歳以上13歳未満の間に接種

◆接種料金／無料

※9歳以上13歳未満の間に1期接種が完了した子どもの2期接種については、厚生労働省で検討中のため、決まり次第お知らせします。

日本脳炎予防接種の受け方

→ はい → いいえ

生後6カ月以上7歳6カ月未満、または9歳以上13歳未満

平成22年3月31日までに1回以上接種している

接種を希望する場合は、対象年齢到達後の接種か、自費での任意接種

1期(初回及び追加)を終了している

2期を9歳以上13歳未満の間に1回接種

対象年齢内(7歳6カ月未満または9歳以上～13歳未満)に6日以上の間隔をおき1期の残りの回数を接種

標準的な接種年齢は3歳ですが、優先される他の予防接種を終了し、日本脳炎に感染する恐れがあるなど、保護者の希望がある場合に接種

規定の間隔を守り接種(通常の定期接種)

9歳以上13歳未満の間に1期と接種として接種し、接種間隔を守って接種

ノロウイルスによる感染性胃腸炎が発生しています

ノロウイルスは、感染力が強く少量のウイルスで感染します。主な症状は吐き気や嘔吐、下痢です。発熱なども見られ、風邪の症状に似ています。子どもの場合は嘔吐が多く、1日に数回からひどい時には10回以上の場合もあります。

他の病気があったり、体力が低下していたりする場合は重症化する恐れがあります。また、子どもや高齢者は脱水症状や嘔吐物を喉に詰まらせ窒息する危険性があります。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎を予防するために次のことを心がけましょう。

- ①こまめな手洗い／トイレの後や食事の前に十分な手洗いを。石けんをよく泡立てて手全体(指先や指と指の間、手首なども)を洗い、流水で30秒程度よく洗い流す。洗い終わったらきれいなタオルで拭く(タオルの共用は避ける)
- ②食品の十分な加熱／加熱する際は、食品の中まで火がとおるように、中心温度85℃で1分以上加熱する
- ③調理器具などの消毒／まな板、ふきんなどはよく洗い、熱湯や塩素系漂白剤で消毒する



ノロウイルスの感染を防ぐため、しっかりと手洗いをしましょう

仙北組合総合病院では、外来患者数が年々増加し、私たち勤務医の外来診療での負担が大きくなってきました。そのため、ある程度の外来機能は地域の開業医の先生にお願いして、勤務医は入院業務や手術に取り組めるようにする必要がありますが高まってきました。

この問題を解消するため、平成16年2月に地域医療連携室(以下連携室)が当院内に設置されました。連携室の当初の仕事は、逆紹介の奨励(開業医への紹介、紹介率の向上(開業医からの紹介)でした。キーワードは「顔の見える連携」。紹介患者さんが窓口で不安にならないように連携室のスタッフが当該科まで案内したり、なるべく優先的に診療していただくよう配慮したりしています。

以来、薬剤の投与日数の増加も相まって、外来患者数は減少傾向にあります。患者さんから見ても、開業医にかかることや、病院の外来患者数が減ること待て時間が少なくなるなどのメリットがあります。入院治療や手術が必要な場合は、患者さんの情報をかかりつけ医から提供していただくことで、円滑な連携が可能です。また、より高度な医療が必要な患者さんには大学病院などへの紹介もできます。

現在、患者さんの紹介入院などの連携はほぼ十分なものと考えていますが、退院時の連携となるとまだまだ改善の余地があると思っています。患者さんは退院するために入院するのであり、目的は退院です。患者さんとその家族がいかに納得し安心して退院できるか、これが、これからの連携室の仕事です。退院後に具合が悪くなったらまた診てもらえるのか、すぐに入院できるのか、そういった不安を安心感に変えることが必要なのだと思います。

一つの例が昨年の1月から当院と県立リハビリテーションセンターの間で始まった脳卒中連携。狙いは、急性期から亜急性期にか

けての患者さんにとってすぎ間のないリハビリテーションです。脳卒中患者さんが入院したら、約3週間後の転院を打診し、同意が得られた場合、当院での急性期治療がひととおり終わったところで県立リハビリテーションセンターに転院するというものです。

以上のように、医療連携にはさまざまな形がありますが、大事なことは一方向的な連携でなく、双方向性の連携であり、かつ患者さんの視点だと考えています。病院、医院、施設など大曲仙北医療圏の中の当院もやはり限りある医療・福祉の資源の一つであり、お互いに連携しながら、活用されなければいけないと考えています。

※1急性期＝発症後間もない、症状の比較激しい時期

※2亜急性期＝症状の回復期

大事なのは双方向性の連携と患者の視点 地域医療連携について

Talk about
an area medical cooperation



Medical Chart no. 43



大曲仙北医師会

仙北組合総合病院
脳神経外科

佐々木 順孝 医師

大仙市大曲通町 1-30

☎ 0187-63-2111

健康の達人

大曲仙北医師会からの便り
大曲仙北医師会ホームページ
パソコンから <http://www.omagari-med.or.jp>
携帯電話から <http://www.omagari-med.or.jp/i/>

Letter from Omagari-Semboku Medical Association
Master of HEPAUTH.



※日程は変更になる場合があります。

このようなことは
高齢者への虐待になります

身体的虐待

たたく、つねる。何かにしばりつけるなど身体を奪う。

心理的虐待

言葉や態度(無視など)で精神的苦痛を与える。

介護・世話の放棄

介護や世話をしない。著しく養護を怠る。

経済的虐待

財産やお金を勝手に使う。正当な理由もなくお金を使わせない。

性的虐待

本人がいやがる性的な行為やその強要。

高齢者虐待の理由はさまざまです。虐待をしてしまう家族や高齢者との(過去も含めた)人間関係、介護疲れやストレス等、認知症による高齢者の混乱した言動、配偶者や家族・親族の無関心、経済的な苦しさなど複雑な理由がからみあって起こると考えられています。

なぜ虐待が起こるか
さまざまな理由があります

「高齢者虐待」を知っていますか
みんなで防ごう高齢者虐待！

在宅介護は本当に大変です
介護サービスを活用しましょう

高齢者虐待のケースの1つに、高齢者を在宅介護していて、その疲れやストレスから虐待をしてしまう場合があります。「いつも忙しくて、おじいちゃんの話を無視してしまう」「頑張つて介護をしているのに、言うことを聞いてくれない、ついおぼあちゃんの手をつねつてしまう」「自分だけが頑張っているように感じる。心も体もクタクタだ」このような場合は家族だけが悪いとはいえません。虐待をしてしまう家族が適切な介護方法を知らずにいたり、必要な支援を受けていなかったりします。介護サービス等を利用することで負担は減らせます。上手に活用しましょう。

独りで悩まないで
地域包括支援センターに相談

虐待を受けている高齢者を見つけたり、助けを求められた場合は地域包括支援センターに連絡してください。連絡していただいた方のプライバシーは保護されます。

高齢者虐待の情報・相談は各地域包括支援センターまで連絡ください

中央 (大曲庁舎/大曲・四ツ屋・花館地区)
☎ 0187-63-1111 内線 171
東部 (中仙庁舎/中仙・仙北・太田)
☎ 0187-56-7125

西部 (西仙北庁舎/神岡・西仙北・南外)
☎ 0187-87-3970
協和 (社会福祉協議会協和支所/協和)
☎ 018-892-3838

南部 (社会福祉協議会本所/大曲・内小友・西根・藤木・角間川地区)
☎ 0187-88-8030

介護保険事務所からの
お知らせ

介護保険料を滞納すると…

【問い合わせ】介護保険事務所保険指導班 ☎0187-86-3911

災害やそのほか特別の事情がなく介護保険料を納期限まで納めない(滞納)でいると、滞納している期間に応じて次のような措置が講じられます。介護保険料は納期を守り、忘れずに納入ください。

① 滞納が1年以上の場合
(償還払い化)

介護保険サービスを受けたときの自己負担が、通常1割のところ、いったんサービス事業者へ10割(全額)を支払い、後日保険者への請求により9割相当分の払い戻しを受ける償還払いになります。

② 滞納が1年6カ月以上の場合
(一時差止)

①により払い戻されることになっている費用を一時差止められたり、住宅改修費や福祉用具購入費の給付費も一時差止めになります。さらに滞納が続くと、差し止められた給付費から滞納保険料が控除されることがあります。

③ 滞納が2年以上の場合
(給付額減額)

滞納している期間の長さに応じて、自己負担が3割に引き上げられるほか、高額介護サービス費の支給が受けられなくなることがあります。

MEMO

満65歳になられた方の保険料は、すぐには年金から特別徴収(天引き)できません。当分の間は納付書で納めていただきます。納め忘れを防ぐために便利な『口座振替』をご利用ください。手続きは各金融機関(秋田ふるさと農協金沢支店を含む)でできます。一人一人の保険料は、介護保険(老後の安心を支えるみんなの制度)の大切な財源です。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

●仙北図書館のおすすめ

江〜姫たちの戦国〜上・下

(仙北・協和・大曲図書館所蔵あり)

田淵久美子／著

(日本放送出版協会)



戦国の世にあつて女の戦とは、ただ、今を生きたいということ。浅井長政の三女として生まれた江は、たとえどんな苦難があろうとも持ち前の穏やかさを失うことなく、その数奇な運命をしなやかな心で受け入れていきます。

ただひたすらに天下泰平を願い、懸命に戦国の世を生き抜いた女性たちの姿からあなたは何を感じるでしょうか。2011年NHK大河ドラマの原作本です。



ここで紹介する以外にもたくさんの本が入っています。希望する本がなかった場合は、図書館職員へ声を掛けてください。市内の各図書館のほか、県立図書館からも取り寄せます。

小説・一般向け図書

○廃院のミカエル／篠田節子
○歌舞伎町セブン／菅田哲也
○東慶寺花だより／井上ひさし
○伏／桜庭一樹
○錨を上げよ(上・下)／百田尚樹
○つるかめ助産院／小川糸
○下町ロケット／池井戸潤
○どんぐり姉妹／よしもとばなな
○長い廊下がある家／有栖川有栖
○戦国を終わらせた女たち／竜門冬二
○最初の哲学者／柳広司

幼児・児童向け図書

○あかちゃんがやってくる／ヘレン・オクセンバリー
○さらば、シッコザウルス／服部千春
○ふゆねこ／こみねゆら
○かわうそ3きょうだいのふゆのあさ／あべ弘士
○ぼくの図書館カード／グレゴリー・クリステイ
○オオカミグーのなつかしいひみつ／みやにしたつや
○すずちゃんと魔法のババ／柏葉幸子
○くまのこのとし／高橋和枝
○だがしかし／西村繁男

■各図書館イベント／

【おはなし会】

仙北 1月8日・22日(土) 午前10時30分～

協和 1月15日(土) 午前10時～

神岡 1月15日(土) 午前11時～

西仙北 1月22日(土) 午前10時～11時

【どんぐり文庫 おはなし会】

太田(敬愛館) 1月22日(土) 午前9時30分～午後3時

■各図書館休館日／【1月4日まで】年末年始のため全館休館

【1月】▼31日＝協和 【2月】▼1日＝大曲、南外、太田▼7日＝中仙、仙北

▼28日＝協和 【1月31日～2月2日】＝西仙北(資料整理期間のため)

各図書館問い合わせ

大曲図書館 ☎ 0187-62-1012	南外図書館 ☎ 0187-74-2130
神岡図書館 ☎ 0187-72-2501	仙北図書館 ☎ 0187-69-3334
西仙北図書館 ☎ 0187-75-0099	太田図書館 ☎ 0187-88-1119
協和図書館 ☎ 018-892-3830	中仙図書館 ☎ 0187-56-7200

市長交際費

(11月1日～30日)

摘要	件数	金額
弔慰	9	170,000円
慶祝	34	222,877円
協賛	6	25,540円
合計	49	418,417円



①ショートステイ神岡を訪れた読売巨人軍の原辰徳監督と握手をする栗林次美市長

②大仙雪まる隊出動式であいさつをする栗林次美市長

お知らせ
Information

県内就職を希望する方へ
秋田県合同就職説明会

県内企業採用担当者の個別説明、
ハローワーク職員による就職説明等
を行います。※入場無料・入退場自由
◆対象／平成24年3月に大学・短
大、高専、専修学校等を卒業予定の
学生（一部の企業では23年3月卒業予定
の学生、既卒者も可）

◆日時・会場／
【東京会場】1月23日（日）午後1時
～4時・ベルサール神保町（東京都千
代田区西神田3-2-1）

【仙台会場】1月24日（月）午後1時
～午後4時・仙台サンプラザ（宮城県
仙台市宮城野区榴岡5-11-1）

【秋田会場】2月24日（木）午後1時
～5時・秋田ビューホテル（秋田市中
通2-6-1）

※受け付けは各会場とも正午開始
※秋田会場には、東京、仙台から無料バス
（ジョブワゴン）を運行します。

【問い合わせ】
県雇用労働政策課
Aターン・若年者支援班
☎018-860-2335

危険個所には近づかない
水難事故に注意しましょう

仙北平野土地改良区管内の水路
は冬期間も通水しています。冬期間
は、降雪で水路の端が分かりにくく
なり、水路への転落事故が発生する
恐れがあります。水路の近くを通る
時は十分に注意し、危険な個所には
近づかないようにしましょう。

【問い合わせ】
秋田県仙北平野土地改良区
☎0187-62-0180



冬期間は、降雪
で水路の端が分
かりにくく特に
危険です
近づかないよう
にしましょう

相談には申し込みが必要です
土地・家屋・相続無料相談

◆日時／1月28日（金）
午前10時～午後3時
◆会場／大仙市社会福祉協議会本所
◆定員／先着8人
◆申込期限／1月26日（水）
◆相談員／相馬完さん（司法書士）
【問い合わせ・申し込み】
大仙市社会福祉協議会本所
☎0187-63-0277

講習
Course

大曲技術専門校の
スキルアップセミナー

【技能検定（建築大工2級）
学科試験準備講習】
期日／1月24日（月）・25日（火）
【技能検定（建築大工1級）
学科試験準備講習】

期日／1月27日（木）・28日（金）
【多角形屋根の制作講習】
期日／2月1日（火）・2日（水）
【JW-CADによるパース】
期日／2月9日（水）・10日（木）
【実践・ホームページ作成講習
（XHTML+CSS編）】

期日／2月9日（水）・10日（木）
◆対象／会社等に勤務されている方
◆時間／午前9時～午後4時
◆会場／大曲技術専門校
◆定員／各10人
◆受講料／無料（別途、テキスト代）
【問い合わせ・申し込み】
大曲技術専門校民間訓練支援室
☎0187-62-6321

健康管理・スキルアップに
リンパマッサージフィットケア体験会

◆日時／1月8日（土）・11日（火）
午前10時～11時30分、午後1時～
2時30分
◆会場／はびねす大仙（幸町2-70）
◆参加費／無料
【問い合わせ・申し込み】
中村さん ☎090-5595-0800

フラワーアレンジメントを学ぶ
市民フラワーデザイン講座

◆日時／1月12日・26日（水）午後
5時～7時※毎月第2・第4水曜日
◆会場／はびねす大仙（幸町2-70）
◆受講料／無料（別途、材料代1,500円
程度）
【問い合わせ・申し込み】
NPO法人フラワーデザイン普及協会
栗林さん ☎090-2270-6644

精神保健福祉ボランティア
養成講座受講者募集

病院・施設行事などで活動する
「精神保健福祉ボランティア」の養
成講座を行います。心の病や精神障
害のある方とのコミュニケーションの
取り方などを学びます。詳細は問い
合わせください。※受講無料
◆対象／市内で活動でき、講座の全
日程に参加できる方
◆期間／2月18日（金）から28日（月）
までのうちの3日間（全8時間程度）
◆定員／15人
◆申込期限／1月28日（金）
【問い合わせ・申し込み】
大仙市社会福祉協議会本所
☎0187-63-0277
援護福祉課
☎0187-63-1111 内線173

募集
Invitation

団体利用の方に運賃の一部を助成
グループで乗ろう「秋田内陸線」

10人以上のグループで内陸線を利用した場合に運賃の一部を助成します。詳細は問い合わせください。
◆対象／平成23年2月28日までに行う県内の自治会、老人クラブなどグループによる旅行で、内陸線利用者が10人以上のもの
◆助成額／運賃額の1/2で1人片道500円が上限（往復利用の場合1,000円）
【問い合わせ・申し込み】
県建設交通政策課交通政策班
☎018-860-1283

訂正とおわび

だいせん日和12月号お知らせ版20ページ、市内スキー場情報のコーナーで紹介した「西仙北スキー場」の電話番号に誤りがありました。正しくは ☎0187-75-0887 です。訂正しておわびします。

大曲 産業展示館作品展

【第47回大曲仙北児童生徒
新年書きぞめ展】
期間／1月5日（水）から11日（火）
まで（月曜休み）
【第5回大仙市民席書大会作品展】
期間／1月15日（土）から30日（日）
まで（月曜休み）
■時間／午前9時～午後4時
■会場／産業展示館（大曲大町）
【問い合わせ】
女性センター ☎0187-62-1713

大曲 花館地区合同厄払い

花館小学校を卒業した方、花館地区に在住の方を対象に合同年祝い（厄払い）を開催します。
■対象／数え年で男性42歳（昭和45年4月2日～46年4月1日生）、女性33歳（昭和54年4月2日～55年4月1日生）の方で、花館小卒業生および花館地区在住の方
■日時／1月29日（土）午前10時～
■会場／伊豆山神社
※午前9時15分からシャインプラザ平安閣で受け付け
【問い合わせ】
実行委員会事務局 草薙穰さん
☎080-5571-4801

大曲 踊りを楽しみませんか

童謡や民謡、創作舞踊などを楽しみませんか。初心者の方も大歓迎です。
■期日／毎月第1・第3金曜日
■時間／午後2時～4時
■会場／はびねす大仙（幸町2-70）
■参加費／無料
【問い合わせ・申し込み】
藤原朗子さん ☎0187-63-6246

大曲 介護教室・介護者交流

自宅で介護をしている方同士の交流を図りながら、介護相談や昼食懇談、筋力を維持するための貯筋体操などを行います。※参加無料
■対象／大曲地域に住所があり、自宅で高齢者の介護をしている方
■日時／1月21日（金）
午前9時30分～午後3時30分
■会場／西仙北ぬく森温泉「ユメリア」
■申込期限／1月14日（金）
【問い合わせ】
大仙市社会福祉協議会大曲本所
☎0187-63-0277

大曲 フラダンス教室
受講者募集

癒しのハワイアンミュージックでフラダンスを踊り、心も体もリフレッシュしませんか。初心者の方も大歓迎です。※初回は無料体験可
■期日／毎月第2・第4木曜日
■時間／午後3時30分～4時30分
■会場／はびねす大仙（幸町2-70）
■講師／レオマナミキコさん
■参加費／月2,000円
【問い合わせ・申し込み】
加藤さん ☎090-7075-0359
FAX0187-63-1194

太田 太田新春囲碁大会

参加希望の方は当日会場にお越しください。
■日時／1月15日（土）
午前10時開始（9時30分受け付け開始）
■会場／太田公民館
■参加費／1,500円（昼食、記念品代）
【問い合わせ】
太田町囲碁同好会 戸嶋さん
☎0187-88-1770

西仙北 ユメリア新春イベント

【開運卯歳もちつき大会】
つきたての餅で作った雑煮やきなこ餅を無料で振る舞うほか、記念写真をプレゼントします。
日時／1月2日（日）・3日（月）
午後1時～
【ふるさとの紙芝居】
むかし語りも行う予定です。
日時／1月2日（日）午後2時～
■会場／西仙北ぬく森温泉「ユメリア」
【問い合わせ】
西仙北ぬく森温泉「ユメリア」
☎0187-87-3100

仙北 第28回大仙市仙北
新春将棋大会

■対象／市内在住の方（市外在住の方も参加可）
■日時／1月9日（日）
午前9時40分受け付け開始
■会場／仙北ふれあい文化センター
■参加費／1,000円（小学生500円）
※昼食代含む
■競技方法／A級（二段以上）・B級（初段以下）・小学生の部の3部門で対局
■申し込み方法／当日会場で受け付け※小学生は1月5日（水）まで保護者を通じて申し込み
【問い合わせ・申し込み】
原清勝さん
☎0187-69-2771



新春の腕試しをしてみませんか

広告ページ

1月の子育てイベント情報

未就園の子どもを対象にした、各地域子育て支援センターでのイベントをお知らせします。

【問い合わせ】各地域子育て支援センター

大曲 ☎0187-62-5733 協和 ☎018-892-3426
神岡 ☎0187-72-2244 南外 ☎0187-73-1088
西仙北 ☎0187-87-7130 仙北 ☎0187-63-1143
中仙 ☎0187-56-4139 太田 ☎0187-86-9110

地域	月日	開催場所	事業名	申込期限
大曲	13日(木) 10:00～	サンクエスト	みんなであそぼう	11日(火)
	20日(木) 10:00～	大曲交流センター	おかあさんとリズムあそび	18日(火)
	27日(木) 10:00～	サンクエスト	まめまき	25日(火)
神岡	18日(火) 9:30～	すくすく だけっこ園	おひさまひろば ・試食会	14日(金)
西仙北	12日(水) 9:30～	みつば 保育園	保育園の友だちと 遊ぼう	なし
	26日(水) 9:30～		作って遊ぼう (鬼の面作り)	
中仙	20日(木) 9:30～	なかせんワイ ワイランド	わんぱく広場	なし
協和	13日(木) 10:00～	協和 保育園	冬を元気に 過ごそう	12日(水)
南外	14日(金) 9:30～	南外保育園	みんなであそぼ	なし
	21日(金) 9:30～		作ってあそぼ	
	2月4日 (金)9:30～		絵本の 読み聞かせ	
仙北	12日(水) 9:30～	仙北南 保育園	いっしょに あ・そ・ぼ(0・1歳)	11日(火)
	19日(水) 9:30～	仙北ふれあい 文化センター	いっしょに あ・そ・ぼ	18日(火)
	26日(水) 9:30～	仙北南 保育園	作って遊ぼう！	25日(火)
太田	19日(水) 9:30～	おおた 保育園	雪で遊ぼう	17日(月)
	2月3日 (木)9:30～		保育園の豆まきに 参加しよう	2月1日(火)

※申し込み状況で、申込期限前に締め切ることがあります。

1月のまるこのひろば

都市再生住宅1階の子育て支援拠点施設と高齢者生活相談所で各種イベントを行います。

【問い合わせ】まるこのひろば

高齢者＝☎0187-63-2544 子育て＝☎0187-63-2344

日時	子育て支援拠点施設	高齢者生活相談所
15日(土) 11:00～	「音楽ともちつきの集い」(みんなで交流を) ※申し込みは10日(月)まで	
20日(木) 10:30～	いっしょに遊ぼう (親子で交流を)	【随時】 高齢者の生活相談
24日(月) 10:30～	誕生会 (1月生まれの子)	【随時】 高齢者の生活相談
親子相談会	10日(月) ※時間は問い合わせください	【問い合わせ・申し込み】 福原さん☎0187-73-7812

※体操教室…毎週月曜日(祝日除く)①午前10時～②午後1時30分～
「みんなで歌おう」の集い…毎月第3土曜日、午後1時30分～

大仙市の行事予定

1月1日**土**～20日**木**

1/1 土	☎大曲中通病院(大曲)☎0187-63-2131 ☎生和堂医院歯科(西仙北)☎0187-87-3000 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
2 日	☎仙北組合総合病院・整形(大曲)☎0187-63-2111 ☎岡田歯科医院(美郷町)☎0187-84-4108 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
3 月	☎仙北組合総合病院・外科(大曲)☎0187-63-2111 ☎くぼた歯科医院(仙北市)☎0187-43-2233 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
4 火	官庁仕事始め 市県民税(普通徴収)4期、国民健康保険税6期、 後期高齢者医療保険料6期の納付期限日
5 水	仙北地域行政相談■午後1時30分～■紫陽花館 消防出初式■【出初式】午後1時～・大曲市民会館第2駐車場 ■【式典】午後2時～■大曲市民会館大ホール▶PII
6 木	
7 金	大仙市民席書大会■午前9時～■大曲体育館
8 土	西仙北地域行政相談■午前10時～■高齢者ふれあいセンター 大曲新人音楽祭コンクール(予選) ■正午～■大曲市民会館大ホール・小ホール
9 日	大曲新人音楽祭コンクール(本選) ■午後0時30分～■大曲市民会館大ホール ☎仙北組合総合病院・整形(大曲)☎0187-63-2111 ☎ながさか歯科医院(中仙)☎0187-56-2255 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
10 月 成人の日	☎大曲中通病院(大曲)☎0187-63-2131 農業委員会委員選挙人名簿登載申請書提出期限▶P10
11 火	
12 水	
13 木	子育てママの就職相談(要申し込み) ■午前10時～■女性センター
14 金	
15 土	
16 日	障がい福祉休日相談会 ■午前10時～、午後1時～■大曲交流センター▶P9 ☎大曲中通病院(大曲)☎0187-63-2131 ☎こまい歯科医院(大曲)☎0187-62-4189 ☎仙北組合総合病院(大曲)☎0187-63-2111
17 月	協和行政相談■午前9時～■船岡分館(共学館) 太田行政相談■午前9時～■太田庁舎相談室 大曲行政相談■午前10時～■大曲庁舎市民ホール 南外行政相談■午前10時～■南外コミュニティセンター 協和行政相談■午後1時～■協和市民センター(和ピア)
18 火	
19 水	
20 木	
☎…休日外科当番医 ☎…休日歯科当番医 ☎…小児救急診療	午前10時～午後4時 午前9時～午後1時 午前9時～午後3時
休日救急医療(仙北組合総合病院内) ※日曜日・祝日・年末年始 ☎0187-63-2111 ■内科・小児科 ■午前9時～午後3時	

昭和24年1月26日に日本最古の壁画「法隆寺金堂の壁画」が焼損しました。そのため、消防庁と文化庁では、毎年1月26日を中心に文化財を災害から守るための文化財防火運動を全国的に展開しています。

市では、文化財防火デーに合わせ、古四王神社と唐松神社の2カ所で防火訓練を行い、文化財保護と防火を呼びかけます。

※国宝の線刻千手観音等鏡像のある水神社(中仙地域)では3月13日(日)に予定されています。



大曲：古四王神社



協和：唐松神社

地域の宝を、 地域で守る

1/22
土

第19回協和文化財防火デー

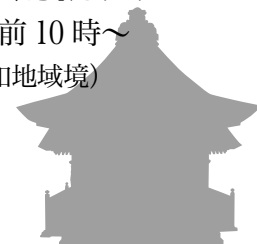
日時／1月22日(土) 午前10時～

会場／唐松神社境内(協和地域境)

【問い合わせ】

教育委員会協和分室

☎ 018-892-3820

1/23
日

第57回古四王神社文化財防火デー

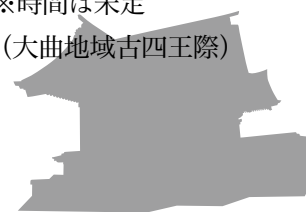
期日／1月23日(日) ※時間は未定

会場／古四王神社境内(大曲地域古四王際)

【問い合わせ】

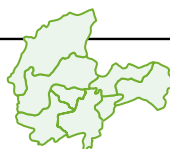
文化財保護課

☎ 0187-63-8972



人口と世帯数

※()内は前月比



11/30現在

人 口	90,797 人	(- 77)
男	42,778 人	(- 37)
女	48,019 人	(- 40)
世帯数	30,822 世帯	(+ 6)

人口増減内訳

出 生	33 人
死 亡	124 人
転 入	113 人
転 出	99 人

- 編集発行 秋田県大仙市企画部総合政策課 ☎ 0187(63)1111(代表)
〒014-8601 秋田県大仙市大曲花園町1番1号
- 発行日 毎月2回(1日・16日)
- 印刷 株式会社 仙北印刷所



担当者コラム

今日も“だいせん日和”

▼「大曲の花火100年」の年も終わり、また新たな1年が始まりました。明けましておめでとうございます。今号の表紙は中仙の「ジャンボうさぎ」今年の主役です。写真撮らせてもらうため清水地区の草薙忠造さんを訪ねました。草薙さんはこの道40年の大ベテラン。写真を撮らせてもらったうさぎを「ともみちゃん」と呼ぶやさしい目が印象的でした▼同じく中仙の戸嶋大也さん取材。戸嶋さんは青年海外協力隊としてアフリカのベナンで体育を指導することが決定。「現地の子どもたちにスポーツの素晴らしさを伝えたい」新たな世界へ踏み出す戸嶋さんは希望に溢れていました▼今年は8月にインターハイが秋田、青森、岩手の北東北3県で合同開催、大仙市もなぎなた競技の会場になっています。私たちも広報を通して、みなさんにスポーツの素晴らしさをお届けします(ゆ)